

# 宇野浩二著書目録

増田周子

本目録は、宇野浩二の著書を、一、小説、二、評論・随筆、三、童話・少年少女小説、四、文庫本、五、著作集・個人全集、六、文学全集叢書類、七、広津和郎名義訳、八、復刻本、に分類し、発行年月日順に並べた。個人全集は巻順とした。

記載順序は次の通りである。

署名（叢書名）

発行年月日 発行所 判型 製本 頁数 定価 装幀者名

§ 収録作品名

直接確認することの出来なかつた著書については書名の下に☆印を付した。

頁数については、本文と目次との総計を記した。収録作品名が本文と目次との表記が異なる場合には、本文題名を採用した。

「島崎藤村読本」などの編著については省略した。

児童書についての叢書類は、「三、童話・少年少女小説」の部に入れた。

箱・カバーは管見に入ったものだけを記した。

\* 印は注記である。

本目録作成にあたり、関西大学図書館、日本近代文学館、国会図書館、大阪府立中之島図書館、国際児童文学館を利用して頂いた。厚くお礼を申し上げます。

なお、この目録には、まだ未確認の著書もあり、脱漏もあるかと思われる。大方の御教示をお願いする次第です。

## 一、小説

清二郎 夢みる子(少なき話集)

大正二年四月二十日発行 白羊社書店 四六判 厚紙装 一七七頁

四十五銭

§著者自からの序／人形になりゆくひと／醜き女が物語／ある雨の夜／ガラス写しの写真／うた／天王寺の南門／西の棧敷に／玩具の錨／清二郎彼自らの話(浜／水の流れ／南地／北陽や堀江／東横堀の浜／いろ／＼の話／終に)／細目の格子／堀割の誘惑／蝙蝠飛ぶ夕／櫛を抱いて／人形とすこ六／与力の心／悲しき祖母の寝物語／古都と／冥加知らん人の榮華／其父と未だ見ぬ従兄／伯父の小唄／友禪の座蒲団

蔵の中

大正八年十二月二十四日発行 聚英閣 四六判 厚紙装 三八二頁

二円二十銭 装幀・鍋井克之

§近松秋江論(序に代へて)／蔵の中／屋根裏の法学士／転々／長

い恋仲

苦の世界

大正九年五月二十日発行 聚英閣 四六判 二八六頁 クロス装

二円箱

§あの頃の事／苦の世界その一(一)、私といふ人間／二、浮世風呂／三、難儀な生活／四、無為と人々／五、をんなの始末／六、皆ては子供であつた人々／苦の世界その二(一)、哀れな老人等／二、花屋敷にて／三、私の伯父の一生／四、浮世の二人男／五、流転世界

男心女心

大正九年十一月二十日発行 新潮社 四六判 三七九頁 厚紙(背クロス)装 二円 装幀・鍋井克之

§人心／化物／因縁事／妄想／兄弟／或人間の手記

美女

大正九年十二月十五日発行 アルス 布装 四六判 三八六頁 二

円

§美女／若者／片思／帰去来／桃色の封筒／搖籃の唄／少年のための物語／甘き世の話／新浦島物語

高い山から(新進作家叢書27)

大正十年三月二十日発行 新潮社 菊半截判 布装 一六六頁 五

十銭

§高い山から

空しい春☆

大正十年六月発行 金星堂 四六判

§遊女／鴉／八木弥次郎の死／夫の遁走

迷へる魂

大正十年十一月二十日発行 金星堂 四六判 布装 四〇三頁 二

円八十銭 箱

§迷へる魂（其一、津田沼行／其二、人の身の上／其三、或る年の

瀬／其四、悉く作り話／其五、人心）

善男善女

大正十年十二月十五日発行 太陽堂 四六判 厚紙装 三八六頁

二円二十銭

§或女の境涯／尾上半二の結婚／二青年

わが日・わが夢

大正十一年二月十五日発行 隆文館 四六判 クロス装 三八八頁

二円三十銭 箱

§わが日・我が夢（甘き世の話／一と踊／夏の夜の夢／心中）／歳

月の川（一、父の記憶（その一）／二、父の記憶（その二）／三、

博多の城／四、神戸の山）／滅びる家／或る役者の思出／橋の上

（一、水店／二、初恋／三、朝鮮の客）

屋根裏の恋人へ金星堂名作叢書19

大正十一年六月十五日発行 金星堂 菊半蔵判 厚紙装 一六二頁

六十銭 装幀・森田恒友

§屋根裏の恋人／あの頃の事

恋愛合戦

大正十一年七月十五日発行 新潮社 四六判 厚紙（背布）装 五

四四頁 一円八十銭 装幀・佐藤春夫

§恋愛合戦（第一〜三編）

\*昭和二年一月十三日発行版あり。

悪童の群

大正十一年七月二十九日発行 太陽堂 四六判 厚紙装 二四九頁

一円八十銭

§序話／第一話へ一、どうして彼がアトリエの新築を思立ったか／

二、どういふ不満がその後彼の心中に起ったか／三、どうして彼が

或女と近附になるに至ったか／四、どうして小集が計画されて又止

めになつたか／五、第二話へ一、どうして突然未知の詩人が彼を訪ね

て来たか／二、どういふ事件が大飼と釜田とが来て起ったか／三、

どうして風変わりな人たちが一堂に会したか／四、どうして盗賊の真

似をする相談が持上ったか／五、どうして鍵とやつとが災難を持

來したか／六、第三話へ一、どうして彼等が木更津に行くことになつ

たか／二、どうして彼が彼女と別れて又別の女と知ったか／三、ど

うして彼が思ひがけなく媒介者にならされたか／四、どうして彼が

愈よ帰国を思立つことになつたか／著者の言葉

## 青春の果

大正十一年九月二十日発行 天佑社 四六判 厚紙(背クロス)装

三九二頁 二四三十銭

§ 夢見る部屋／青春の果／小説及小説家／或る青年男女の話／彼と

群集／婚約指輪／二人の青木愛三郎

山恋ひ(中編小説叢書8)

大正十一年十一月二十八日発行 新潮社 四六判 紙装 七十銭

§ 山恋ひ

女怪

大正十二年五月十五日発行 玄文社出版部 四六判 布装 五一三

頁 二四三十銭

§ 女怪

心づくし

大正十三年四月一日発行 プラトン社 四六判 布装 二二六六頁

一四八十銭

§ 四人ぐらし／心づくし／従兄弟の公吉／東館／古風な人情家

子を貸し屋

大正十三年七月五日発行 文興院 四六判 布装 三二二頁 一四

八十銭

§ 子を貸し屋／お蘭の話／ある家庭／俳優／或る春の話／ちゃんぼ

ん廻り／燗焼屋騒動

晴れたり君よ(短篇シリーズ5)

大正十三年十二月三十日発行 新潮社 四六判 紙装 二〇六頁

八十銭

§ 著者近影／晴れたり君よ／私の弟と彼の友人／鼻提灯／昔がたり

／接吻／早起の話

夢見る子☆

大正十四年三月発行 井上盛進堂 四六判

\* 「滑二郎 夢みる子」を書名変更。

苦の世界(代表的名作選集44)

大正十五年九月二十六日発行 新潮社 菊半截判 クロス装 一六

〇頁 五十五銭

§ 解題(編者識)／苦の世界(一、私といふ人間／二、浮世風呂／

三、難儀な生活／四、無為の人々／五、をんなの始末／六、昔ては

子供であつた人々)／蔵の中

魔都 一名出世五人男

大正十五年十二月十五日 春秋社 四六判 厚紙(背布)装 五九

九頁 二四六十銭 装幀・佐藤春夫

§ 魔都—一名出世五人男—(影を失つた男(序話)／緑の首都／大

名長屋／浮世学校／続浮世学校／「大名長屋」続篇／「浮世学校」

後篇／出生／出世後篇)／後書

女怪

昭和二年一月十五日発行 近代文芸社 四六判 布装 五一一頁

一円 箱

§女怪

高天ヶ原

昭和二年三月二十日発行 春秋社 四六判 厚紙(背クロス)装

四三七頁 二円二十銭

§四方山／千万老人／十軒路地／鼻提灯／貸と借／母の秘密／如露

／人癪癪／怪人／高天ヶ原

蔵の中

昭和二年四月二十五日発行 昭和書房 四六判 クロス装 三八二

頁 二円二十銭 装幀・鍋井克之 箱

§近松松江論(序に代へて)／蔵の中／屋根裏の法学士／転々／長

い恋仲

我が日我が夢

昭和二年八月十日発行 新潮社 四六判 厚紙装 四二四頁 二円

装幀・小村雪岱

§序(谷崎潤一郎)／序(芥川龍之介)／人心／甘き世の話／一と

踊／夏の夜の夢／心中／山恋ひ

新選宇野浩二集(新選名作集)

昭和三年八月二十日発行 改造社 四六判 紙装 六二七頁 一円

§子を貸し屋／人心／空しい春(或は春色梅之段)／蔵の中／あの

頃の事／熊と虎／十軒路地／心づくし／ぢやんぼん廻り／俳優／千

万老人／因縁事／一と踊／八木彌次郎の死／お蘭の話／見残した夢

／美女／如露／夢見る部屋／人癪癪／鼻提灯／青春の果／浮世の窓

／昔がたり／長い恋仲／或る春の話／鯛焼屋騒動／暗れたり君よ

子の来歴

昭和九年一月五日発行 アルルカン書房 A5判 厚紙(背布)装

一四三頁 二円五十銭 箱

§子の来歴／子を貸し屋(改作)

\*五百部限定発行

枯木のある風景

昭和九年三月五日発行 白水社 菊判 厚紙(背クロス)装 三二

九頁 二円五十銭 装幀・鍋井克之 箱

§枯木のある風景／枯野の夢／人さまざま／一週間／跋(創作余談)

湯河原三界(文芸復興叢書)

昭和九年五月六日発行 改造社 四六判 厚紙装 二九四頁 一円

§一週間／海戦奇譚／湯河原三界／下女／如露／恋の軀／線香花火

／一名避暑地の戯恋譚／日曜日／子の来歴

## 人間往来

昭和十一年一月十五日発行 黎明社 四六判 布装 五二七頁 一  
 円八十銭 装幀・鍋井克之 箱

§ 歴問／人間往来／一と踊／海戦奇譚／夏の夜話／枯野の夢／鼻提  
 灯／日曜日／八木彌次郎の死／四人ぐらし／終の栖／夢の跡／跋

## 子の来歴

昭和十一年三月二十二日発行 三笠書房 四六判 紙装 一円五十  
 銭

§ 自序／子の来歴／遊女／子を貸し屋／長い恋仲／人心

## 軍港行進曲

昭和十一年五月二十日発行 昭森社 四六判 厚紙（背クロス）装  
 四一九頁 一円八十銭 装幀・鍋井克之

§ 高い山から／旅路の芭蕉／軍港行進曲／跋

\* 特製版五十部発行あり

## 未だ見ぬ母☆

昭和十三年十二月発行 借成社 四六判

## 楽世家等

昭和十四年三月二日発行 小山書店 四六判 厚紙（背クロス）装  
 三九二頁 一円

§ 『小説の鬼』（序に代へて）／楽世家等／終の栖／閑人閑話／夢

の跡／風変わりな一族／鬼子と好敵手／一週間／夢の通ひ路／耕右衛  
 門の改名／跋

## 器用貧乏

昭和十五年七月七日発行 中央公論社 A5判 厚紙装 四二〇頁  
 二円 装幀・鍋井克之 箱

§ 母の形見の貯金箱（序に代へて）―或ひは「何も彼も打ち明け話  
 ー／器用貧乏／木と金の間／枯野の夢／文学の鬼／後記

## 女人往来

昭和十五年十二月七日発行 河出書房 四六判 紙装 二八六頁  
 一円七十銭 装幀・鍋井克之 紙カバー

§ 女人往来／女人不信／戦争聞書／海戦奇譚／弟とその友／巻末記  
 母と兄と子

昭和十五年十二月八日発行 桜井書店 四六判 紙装 三二八頁  
 一円七十銭 装幀・鍋井克之

§ 序／心つくし／足りない人／夏の夜話／従兄弟の公吉／子が来る  
 まで―別名 子の来歴／子が来てから―別名 人さまざま―

## 夢の通ひ路（有光名作選集Ⅰ）

昭和十六年七月十五日発行 有光社 四六判 紙装 三一七頁 一  
 円三十銭 装幀・小穴隆一 紙カバー

§ 筆蹟／自序／夢の通ひ路／一と踊／俳優／暗れたり君よ／子の来

歴／千万老人／如露／終の栖／枯木のある風景

夢みる部屋〈桜井版名作選書〉

昭和十七年二月二十日発行 桜井書店 四六判 紙装 三一六頁

二四五十銭 装幀・吉岡堅二

§ 宇野浩二について（青野季吉）／夢見る部屋／人癩癩／あの頃の事／風変わりな一族／四人ぐらし／子の来歴／後記

二つの道

昭和十七年二月二十八日発行 実業之日本社 四六判 厚紙装 三

三七頁 二四三十銭 装幀・鍋井克之 箱

§ 二つの道／若い日の事／終の栖／海戦奇譚／閑人閑話／枯野の夢／枯木のある風景／後記

馬琴・北斎・芭蕉

昭和十八年三月五日発行 小学館 四六判 厚紙装 二八九頁 二

四二十六銭 装幀・鍋井克之

§ 口絵／馬琴読本／北斎絵巻／旅路の芭蕉

人間同志

昭和十九年五月十五日発行 小山書店 四六判 紙装 二四三頁

二四六十二銭

§ 人間同志

子を貸し屋〈虹叢書1〉

昭和二十一年八月十日発行 虹書房 B6判 紙装 一三六頁

§ 子を貸し屋／あの頃の事／蔵の中

福沢諭吉

昭和二十一年九月一日発行 新生社 B6判 紙装 六二頁 三円

五十銭

§ 福沢諭吉（一〜十二）／附録一／附録二

枯木のある風景〈三島文庫〉

昭和二十一年十一月二十日発行 三島書房 B6判 紙装 二三七

頁 十七円 装幀・恩地孝四郎

§ 枯木のある風景／晴れたり君よ／八木彌次郎の死／鼻提灯／長い恋仲／夏の夜話／あの頃の事／千万老人

二つの道

昭和二十一年十二月十日発行 実業之日本社 B6判 紙装 二九

〇頁 装幀・鍋井克之 紙カバー

§ 二つの道／若い日の事／終の栖／閑人閑話／枯野の夢／枯木のある風景

二宮尊徳

昭和二十二年四月二十五日発行 桜井書店 B6判 紙装 一三三

頁 二十八円 装幀・鍋井克之 紙カバー

§ 口絵／二宮尊徳／あとがき

器用貧乏（現代文学選）

昭和二十二年七月十五日発行 鎌倉文庫 B6判 紙装 三一九頁

六十円

§器用貧乏／楽世家等／終の栖／夢の通ひ路／あとがき

出世五人男

昭和二十二年八月一日発行 南嶋社 B6判 厚紙装 四一七頁

九十円 装幀・嵐紫翠

§出世五人男（緑の首途／大名長屋／浮世学校／続浮世学校／「大

名長屋」続篇）／「浮世学校」後篇／出世／「出世」後篇）

恋愛合戦（名作現代文学）

昭和二十二年八月一日発行 文潮社 B6判 紙装 四三二頁 八

十円 装幀・三浦勝治

§恋愛合戦／跋

高い山から

昭和二十二年八月一日発行 地平社 B6判 紙装 一八九頁 三

十八円 装幀・笹島喜平

§高い山から

山恋ひ

昭和二十二年九月十日発行 共立書房 B6判 厚紙装 三三九頁

八十円 装幀・鍋井克之 刻摺・青雲版画社

§甘き世の話／一と踊／心中／山恋ひ／あとがき

青春期（前編）

昭和二十三年二月一日発行 実業之日本社 B6判 紙装 二〇七

頁 六十円 装幀・青山二郎

§はしがき／青春期

出世五人男☆

昭和二十四年二月発行 ヒースケン出版部 B6判

§苦の世界（文芸春秋選書25）

昭和二十四年十二月二十三日発行 文芸春秋新社 B6判 厚紙装

三四四頁 二百二十円

§苦の世界その一（一）、私といふ人間／二、浮世風呂／三、難儀な生活／四、無為の人々／五、をんなの始末／苦の世界その二（一）、あはれな老人達／二、花屋敷にて／三、私の伯父の一生／四、浮世

の二人男／五、流転世界）／苦の世界その三（一）、さ迷へる魂／二、

さ迷へる魂／三、津田沼行その一／四、津田沼行その二）／苦の世

界その四（一）、人の身の上その一／二、人の身の上その二）／苦の

世界その五（一）、ある年の瀬その一／二、ある年の瀬その二／三、

ある年の瀬その三／四、ある年の瀬その四）／苦の世界その六（一）、

ことごとく作り話その一／二、ことごとく作り話その二）／解説

（上林暁）



うつりかはり

昭和二十五年三月十五日発行 中央公論社 B 6判 厚紙装 三六

八頁 三百二十円 装幀・鍋井克之 箱

§心の古里(序にかへて)／富士見高原(あるひは寂寥の人)／秋の心／水すまし／身の秋／うつりかはり／あとがき

思ひ草

昭和二十五年六月十日発行 六興出版社 A 5判 厚紙装 三六四

頁 四百三十円 装幀・山本丘人 箱

§思ひ草／後記

\* 限定版1500部発行

思ひ川

昭和二十六年一月十五日発行 中央公論社 B 6判 厚紙装 三六

六頁 四百二十円 装幀・鍋井克之 箱

§思ひ川(あるひは夢みるやうな恋)――／相思草(「思ひ川」続篇)／あとがき

思ひ川〈普及版〉

昭和二十六年五月三十日発行 中央公論社 B 6判 三六六頁 二

百八十円 装幀・鍋井克之

§思ひ川(あるひは夢みるやうな恋)――／相思草(「思ひ川」続篇)／あとがき

枯木のある風景(日本青春文学名作選14)☆

昭和三十九年九月発行 学習研究社 B 40判

## 二、評論・随筆

難にも米相場☆ 田丸勝之助著

大正五年四月一日発行 蜻蛉館書店 四六判 布装 三〇〇頁 一

円十銭

難にも株式相場 田丸勝之助著

大正五年四月二十七日発行 蜻蛉館書店 四六判 布装 二七〇頁

一円十銭

§はしがき／序篇(株式相場とはどんなものか) へ一、株式相場とは二、秘密の世界／三、相場は賭博ではない／四、良師友たるべく／第一篇(第一章株式会社と株券の話 へ一、会社といふもの へ二、株式会社の話 へ三、株券の話 へ四、株券の利益)／第二章株式相場といふもの へ一、株券の売買 へ二、売買取引 へ三、取引の三種 へ四、商業の正味 へ三、第三章株式取引所(定期取引) へ一、忙しい取引所 へ二、取引所の様子 へ三、仲買店 へ四、第四章株券の売買方(株式相場のやり方) へ一、株券の売付方 へ二、株券の買付方 へ三、注文の諸手続 へ四、売買の決着(手仕舞) へ五、手数料と証拠金 へ五、第五章相場は如何

して生れるか(一)、相場の立ち方(二)、競売買(三)、直取引相対売買の話(四)／第六章直取引の話(一)、直取引の歴史(二)、直取引の話(三)、直取引の計算方法(四)／第七章定期取引 売買注文の仕方(一)、定期取引(二)、直取引(三)／第二篇(第一章定期取引(一)、定期取引といふ事(二)、定期取引の利用(一)、(三)、定期取引の利用(二)、(四)、定期取引の利用(三)、(五)、投資的と投機的／第二章相場の変動(一)、相場の変動と人気(二)、変動を知る準備(三)、相場変動の場合(四)、仕掛ける時と仕舞ふ時(五)／第三章相場変動の原因(材料)(一)、材料といふ事(二)、材料の種類(三)、一般的材料(四)、特殊の材料(五)／第四章相場変動の原因(人為的)(一)、人為的操り相場(二)、小仕掛の操り相場(三)、大仕掛の操り相場(四)／第五章鞘取り売買(一)、鞘取り売買と云ふ事(二)、時に依る鞘取り(三)、場所に依る鞘取り(四)、現物と定期の鞘取り(五)／第六章定期取引売買の手段(相場の奥の手)(一)、(二)、(三)、(四)、(五)、(六)、(七)、(八)、(九)、(十)、(十一)、(十二)、(十三)、(十四)、(十五)、(十六)、(十七)、(十八)、(十九)、(二十)、(二十一)、(二十二)、(二十三)、(二十四)、(二十五)、(二十六)、(二十七)、(二十八)、(二十九)、(三十)、(三十一)、(三十二)、(三十三)、(三十四)、(三十五)、(三十六)、(三十七)、(三十八)、(三十九)、(四十)、(四十一)、(四十二)、(四十三)、(四十四)、(四十五)、(四十六)、(四十七)、(四十八)、(四十九)、(五十)、(五十一)、(五十二)、(五十三)、(五十四)、(五十五)、(五十六)、(五十七)、(五十八)、(五十九)、(六十)、(六十一)、(六十二)、(六十三)、(六十四)、(六十五)、(六十六)、(六十七)、(六十八)、(六十九)、(七十)、(七十一)、(七十二)、(七十三)、(七十四)、(七十五)、(七十六)、(七十七)、(七十八)、(七十九)、(八十)、(八十一)、(八十二)、(八十三)、(八十四)、(八十五)、(八十六)、(八十七)、(八十八)、(八十九)、(九十)、(九十一)、(九十二)、(九十三)、(九十四)、(九十五)、(九十六)、(九十七)、(九十八)、(九十九)、(一百)

なる仲買を選ぶべきか(一)／第四章仲買に対する心得(一)、(二)、仲買の手管(二)、仲買の云ふ事(三)、外交員に対する注意(四)／第五章公然の仲買の収入(一)、(二)、仲買の裏面の収入(二)、客注文売買の喰合せ(三)、思惑売買(四)／第六章公然の仲買の収入(一)、(二)、呑むといふ事(二)、附売買証明の事(三)／終篇(必勝の方法と注意(一)、投資的と投機的(二)、小資本者の為(三)、相場を始める前(四)、素人と黒人(五)／附録篇(一)、株式用語解(二)、主要なる諸会社明細表(三)、有価証券利廻早見表(四)、日歩年利換算表(五)、年利日歩換算表(六)、鞘取利廻表)

文芸夜話

大正十一年六月十五日発行 金星堂 新書判 布装 三六五頁 一  
 円八十銭

§ 文芸閑話休題(一)〜七)／隨筆雜篇(労働祭の日/或る夕方)青木宏峰画会の紹介文(一)／東方優勝会の日/旅の日記)／友達の印象(佐藤春夫/谷崎精二/江口渙/野依秀一/広津和郎/舟木重信/広島見甫)／論(十年文壇事始(月評といふもの/私の月評に就いて/若山牧水の歌/隣人江口渙/里見淳の作品/芥川龍之介に就いて/相馬泰三と批評家/泰三の作風/岡本一平)／葛西善蔵論/近松秋江論)

文学的散步(感想小品叢書Ⅱ)

大正十三年六月七日発行 新潮社 四六判 紙装 二八〇頁 一円  
二十銭 装画・恩地孝四郎

§文芸閑話休題(文学とヒステリイ/文学的修業/文学といふ氣へその一)/文学といふ氣(その二)/私の文学入門(その一)/私の文学入門(その二)/創作批評(一、序言/二、新旧両派の文学/三、伊東先生の念流/四、徳田秋声の諸作/五、正宗白鳥の諸作/六、枯野文学/七、犬養健の諸作(その一)/八、同(その二)/九、久米正雄の小説/十、武者小路の文章その他/十一、新井紀一の諸作(その一)/十二、同(その二)/十三、菊池寛の「肉親」/十四、中村吉蔵の「地下室」/十五、或近代劇に就いて)/震災文章(九月一日・二日(その一)/九月一日・二日(その二)/三百年の夢/町内の人々/夜警/水火を経て来た人/バラック住居)/近頃閑談(所謂モデルの事/文学研究の話/信濃の国の顔/懺悔告白の流行/「桃源にて」を読んで/余震雑筆)/人の印象その他(芥川龍之介の印象/人形芝居の披露)

### 文学の眺望

昭和九年七月一日発行 白水社 菊判 布装 三三〇頁 二円 装幀・鍋井克之

§作家の道(葛西善蔵/岩野泡鳴/田山花袋/花袋なき花袋の書齋訪問記)/芥川龍之介/彼の印象/芥川龍之介/追悼/葛村磯

多一門出/葛村磯多一追悼/長塚節/作家の印象(里見淳/佐藤春夫/広津和郎/牧野信一)/画家の道(石井柏亭/鍋井克之/ロシア文学断片(ゴオゴリの道/ゴオゴリの道/主として晩年のゴオゴリ)/ゴオゴリ以前/ツルゲエネフ断片/「獵人日記」と「散文詩」を中心として/チェーホフ断片)/作品評(雑誌文学の眺望)/随筆随想(今は昔の話/晩年のN君/思出話/一名 旧交友録/創作余談/跋/書かでの記)

### 文芸草子

昭和十年十一月二十日発行 竹村書房 四六判 布装 四三七頁 一円九十銭 装幀・鍋井克之 箱

§斎藤茂吉と柿本人麿/深田久彌と彼の山山/近松秋江/伊藤左千夫/主として歌人としての/芥川龍之介断片/武者小路実篤/蒲団の中/見本の日(日記)/初秋三題/犬・嵐の中/居候/質屋の小僧/質屋の主人/三保とメリケン/小説とモデルの話/文学入門的に書いた/夏の夜話/今昔のカフェ/四人の菊/英屋一蝶と江戸川乱歩/童話の国へ/波多野秋子女史/労働祭の日/この一文を江口渙に/随想随筆/主としてフロオベールのこと/ゴオリ以前/古き歌と詩の思ひ出/三田派の人々/あの頃の事/随想随筆(一、名優の思ひ出その他/二、今の人たち/三、葛西善蔵の事など)/菊地寛と「文芸春秋」/主として菊地寛について

／文芸回顧雜筆／話の聞書／桜木町より（一）、敬服する作者の苦心  
 ／二、六十五翁と九十四翁／三、菊と吉の芝居／四、不朽の芸術家  
 〳／絵画と展覧会と画家／或る年の秋の展覧会の招待日／文筆労働  
 ／秋都の京都の思出／書齋山岳文章断片―それからそれ―／半世紀  
 前の登山話―主として大峰登山の話―／木曾路の旅（一）、木曾福島  
 の巻／二、日本ラインの巻／三、一人旅の巻〳／文芸閑話休題（二）  
 ―文学とヒステリー―／文芸閑話休題（二）（T・Sの話）／文芸  
 閑話休題（三）（G・Rの話）／跋

大阪〈新風土記叢書1〉

昭和十一年四月四日発行 小山書店 四六判 紙装 一六六頁 一

円 装幀・長谷川清二郎 挿絵・鍋井克之 紙カバー

S口絵／口絵写真／木のない都―昔のままの姿―／さまざまの大坂  
 気質―或ひは大坂魂の二つの型―／色色の食道楽―大阪人の食意地  
 のこと―／模様の大阪風の出世型／模様の大阪芸人／跋

文芸草子〈普及版〉☆

昭和十二年七月発行 竹村書房

一途の道

昭和十三年十二月五日発行 三和書房 四六判 紙装 五八〇頁

二円二十銭

S母の形見の貯金箱―或ひは「何も彼も打ち明け話」―／斎藤茂吉

と柿本人麿／二つの会／斎藤茂吉と片上伸／随想的文芸観／牧野信  
 一の詩と芸術／斎藤茂吉の散文／思ひ出の短歌／歌壇書きのぞ記／  
 歳末前後／早春の思出／今の世の夢／死後の漱石と啄木／文芸三昧  
 ／晩秋三日／森鷗外私観／片岡鉄兵讃／島木赤彦断片／東郷青児讃  
 ／芭蕉の旅／短歌往来／俗物的文芸観／新秋文芸観／俳壇「かきの  
 ぞ記」／同情週間／一途の道／三度の旅行記／芥川賞銓衡譚／鈴木  
 三重吉断片／豊田正子讃／清明文芸観／音曲の長／客氣的文芸観／  
 器用貧乏／加藤朝鳥の思出／高踏的文芸観／正岡子規讃／芥川賞に  
 事寄せて―中山發秀の事―／芥川と直木の思出／思ひ出す詩歌と散  
 文／文展「書きのぞ記」

ゴオゴリ

昭和十三年十二月十日発行 創元社 四六判 厚紙装 三四〇頁

一円二十銭

S口絵／序／第一章ゴオゴリ以前（一）、ロシアの言葉／二、準備時  
 代 その一／三、準備時代 その二〳／第二章初期のゴオゴリ（一）、  
 『ディカニカ近郷夜話』／二、『ミルゴロド』／三、ウクライナ物  
 〳／第三章中期のゴオゴリ（一）、ペテルブルグ物／二、『泉』〳／  
 第四章後期のゴオゴリ（一）、ゴオゴリの戯曲／二、『死せる魂』そ  
 の一／三、『死せる魂』その二／四、『死せる魂』その三〳／第五  
 章結末

閑話休題

昭和十五年四月二十五日発行 牧野書店 四六判 厚紙装 三四四頁 二四二十銭 装幀・鍋井克之 箱

§みちづれ―天中の同窓―/天中の同窓/借行社同窓の思出/雪と女/鴨/歳末前後/五拾銭札の思出/初秋三題/同情週間/加藤將軍の思出/人の知らない楽み/小説を作る家/牧野信一の家/牛角の勝負/労働祭の日/東方優勝会の日/今は昔の話/文筆労働/風雲緩急録/深田久彌と彼の山山/信濃の国の顔/芥川と直木の思出/或る夕方/青木宏峰画会の紹介文/旅の日記/椎の木の家/花袋なき花袋の書齋訪問記/文芸閑話休題/あとがき

文芸三昧

昭和十五年六月二十六日発行 筑摩書房 四六判 厚紙装 四三六頁 二四二十銭 装幀・鍋井克之

§文芸三昧(改作問題/独断的文芸観/独舌録/新春新人観/文芸三昧)/高踏文芸観(森鷗外/断片/谷崎潤一郎/永井荷風)/我流文芸観(七月の巻/昭和十二年/三月の巻/昭和十三年/四月の巻/昭和十三年/十一月の巻/昭和十三年/八月の巻/昭和十四年)/我観の文学(我観の文学/新春文芸観/新人文芸観/三人の作家/川崎・田畑・中山)/書物の感想(谷崎訳の「源氏物語」/徳永直の「はたらく一家」/アナトール・フランスの事)

アナトール・フランス短篇小説全集刊行私感)/旧版文芸時評

(諸家の文学/個性のない文学/各人各様/批評と感想/文学談義/心を打つ文学)/巻末記

一途の道(決定版)

昭和十六年二月二十日発行 報国社 四六判 厚紙装 四一六頁 一四八十銭 装幀・鍋井克之 箱

§一途の道(序/島木赤彦/葛西善蔵/小出楢重/澤田正二郎/田山花袋/石川啄木/岡本かの子/古泉千樫/明石海人/若山牧水/芥川龍之介/牧野と嘉村)/斎藤茂吉と柿本人麿/二つの会/斎藤茂吉と片上伸/思ひ出の短歌/死後の漱石と啄木/文芸三昧/晩秋三日/森鷗外私観/片岡鉄兵讚/東郷青児讚/芭蕉の旅/俗物的文芸観/新秋文芸観/三度の旅行記/鈴木三重吉断片/豊田正子の事/清明文芸観/音曲の長/客氣的な文芸観/器用貧乏/高踏的文芸観

遠方の思出

昭和十六年五月二十日発行 昭和書房 四六判 厚紙装 三四九頁 二四二十銭 装幀・鍋井克之

§一 遠方の思出/二 斎藤茂吉の散文/思出の短歌/歌壇「書きのぞ記」/思ひ出す詩歌と散文/俳壇「かきのぞ記」/短歌往来/三 加藤將軍の思出/加藤朝鳥の思出/本多謙三の思出/早稲田の思出/近松秋江の思出/三上於菟吉と秦豊吉の思出/三 富朽葉と

今井白楊の思出／四 日本児童文学小史／バルザックの覚書／新春  
 文芸観／五 二つの型―藤森成吉と中川紀元―／おほどかな歌―会  
 津八一の「鹿鳴集」讃―／新国劇よ／皮肉な可笑し味―鍋井克之の  
 「富貴の人」讃―／思ひ出の種―低級カメラ―／雪國の旅／相撲二  
 景／跋（自画自讃）

文章往来

昭和十六年十月二十八日発行 中央公論社 四六判 厚紙（背クロ  
 ス）装 四〇五頁 二円三十銭 装幀・鍋井克之

§一、口語文の元祖／二、言文一致の夜明けまで／蘆花・樗牛・鴟  
 外／漱石・二葉亭・独歩／藤村・眉山・柳浪／岩野泡鳴の文章／花  
 袋と藤村／武者小路実篤／志賀直哉と菊池寛／芥川龍之介と森鷗外  
 ／夏目漱石／正岡子規・高浜虚子・長塚節／永井荷風／谷崎潤一郎  
 ／志賀直哉／里見弴／久保田万太郎／芥川龍之介／菊池寛／久米正  
 雄／佐藤春夫／広津和郎／宇野浩二／葛西善蔵／室生犀星／龍井孝  
 作／井伏鱒二／坪田譲治／川端康成／描写論（花袋・泡鳴・藤村・  
 白鳥・青果／三重吉と未明／虚子と漱石と子規／左千夫・節・茂吉  
 ／状态的描写と印象的描写／西洋の文学―ザイツェフ―アルツイバー  
 セフ―／作家の道（葛西善蔵／岩野泡鳴／田山花袋―花袋なき花袋  
 の書齋訪問記―／森鷗外／谷崎潤一郎／永井荷風／荷風と潤一郎／  
 武者小路実篤）／作家の印象（里見弴／芥川龍之介〈印象・追悼〉

／佐藤春夫／広津和郎）

文章の研究（ともだち文庫14）

昭和十七年五月一日発行 中央公論社 A5判 九一四頁 五十銭  
 装幀・鍋井克之

§父兄の方々へ／文章の研究（第一章へ二、文章の分け方／二、写  
 生の文章／三、歌と俳句の事）／第二章へ一、最も必要な文章／二、  
 代表的な記事文／三、紀行文（その一）／四、紀行文（その二）／  
 第三章へ一、抒情文／二、叙事文（）

文学的散歩

昭和十七年六月十一日発行 改造社 B6判 厚紙装 三二六頁  
 二円三十銭 装幀・鍋井克之 カット・津田宵楓

§一、斎藤茂吉と青春期（その一、「劇と詩」の頃／その二、「ア  
 ララギ」の初期の頃）／二、明治末期の青春期（その一、白萩、勇  
 蕉、李太郎、光太郎、その他／その二、異国趣味と江戸趣味）／三、  
 初期のロシヤ文学の翻譯（その一、二葉亭と魯庵の翻譯／その二、  
 初期の翻譯劇）／四、初期の純文学書の出版者（二）（その一、金  
 尾文淵堂／その二、洛陽堂と東雲堂）／五、初期の純文学書の出版  
 者（二）（その一、植竹書院と初山書店とアカギ叢書／その二、博  
 文館と新潮社と叢文閣）／六、「白樺」と「奇蹟」（その一、青年  
 時代の武者小路／その二、「奇蹟」と他流試合）／七、文芸院と芸

術院(その一、「ファウスト」と「ドン・キホウテ」)／その二、若野泡鳴と与謝野晶子)／八、白秋と茂吉(その一、新詩社と白秋)／その二、「アララギ」と茂吉)／九、茂吉と晶子(その一、茂吉、赤彦、白秋、牧水／その二、「みだれ髪」と青踏社)／十、情熱家の時代(その一、草平とタヌンチオとワイルド)／その二、光太郎と智恵子)／十一、上方文学の青春期(その一、醉茗、泣菫、春雨、梅溪、鳥水、夜雨、清白)／その二、「関西文学」と晶子と荷風(附天佑社)／十二、斎藤茂吉と武者小路実篤(その一、斎藤茂吉)／その二、武者小路実篤)／卷末記

文学の三十年

昭和十七年八月二十八日発行 中央公論社 四六判 厚紙装 三三九頁 二円八十銭 装幀・鍋井克之

§口絵写真／まへがき／文学の三十年(前篇へ一〜十二)／後篇へ一〜九)／写真解説

作家と歌人

昭和二十一年七月一日発行 全国書房 B6判 紙装 三四九頁 十八円

§自然主義の道―自然主義の諸作家概観―(一、自然主義前派)／二、島崎藤村)／三、田山花袋)／四、国木田独步)／五、岩野泡鳴)／六、正宗白鳥)／七、真山青果)／八、徳田秋声)／島崎藤村)／高浜虚子)／一、

初期の作品)／二、「俳諧師」と「統俳諧師」)／三、「朝鮮」と写生文)／四、後期(上)／五、後期(下)／六、虚子の功績)／歌人の散文(一、正岡子規)／二、長塚節)／三、伊藤左千夫)／四、斎藤茂吉)／五、島木赤彦)／六、中村恵吉)／七、古泉千樞)／八、十屋文明)／九、与謝野鉄幹)／十、与謝野晶子)／十一、北原白秋)／十二、若山牧水)／十三、石川啄木)

文学の三十年

昭和二十二年五月二十日発行 中央公論社 B6判 紙装 三〇五頁 四十円

§口絵写真／まへがき／文学の三十年(前篇へ一〜十二)／後篇へ一〜九)／写真解説

小説の文章

昭和二十三年十月二十日発行 創芸社 B6判 紙装 二九七頁 百八十円(地方定価・百九十円) 紙カバー

§小説の文章(口語文の元祖)／言文一致の夜明けまで／蘆花・櫻牛・鴎外／漱石・二葉亭・独歩／藤村・眉山・柳浪)／岩野泡鳴の文章)／花袋と藤村)／武者小路実篤)／志賀直哉と菊池寛)／芥川龍之介と森鷗外)／夏目漱石)／正岡子規・高浜虚子・長塚節)／永井荷風)／谷崎潤一郎)／志賀直哉)／里見弴)／久保田万太郎)／芥川龍之介)／菊池寛)／久米正雄)／佐藤春夫)／広津和郎)／宇野浩二)／葛西善蔵)／室生犀星)／滝井

孝作／井伏鱒二／坪田譲治／川端康成／横光利一／宮本百合子／丹羽文雄／舟橋聖一／坂口安吾／高見順／太宰治／石川淳／織田作之助）／作家の印象（里見弴／芥川龍之介／佐藤春夫／広津和郎）

\* 昭和二十七年九月十五日発行第四版による。

### 青春の文学

昭和二十四年五月二十五日発行 文潮社 B6判 厚紙装 二二〇頁 百六十円

§ 口絵写真／青春の文学（一、国木田独歩のこと〈その一、吉江弧雁と中沢臨川／その二、「破戒」、「蒲団」、「窮死」／その三、独歩、春浪、民友社〉／二、昔の翻譯〈その一、花袋、白鳥、秋江／その二、英訳と原語訳、昇曙夢の翻譯〉／三、昔の訳詩〈その一、ハイネの詩、柴舟と春月、ヴェルレエヌ、荷風、その他／その二、シモンズ、ノルドウ、泡鳴、天弦、有明〉／四、晩翠と光太郎／五、鷗外と漱石と虚子／六、自然主義その他〈その一、自然主義／その二、反自然主義〉）／自然主義の初期（一、自然主義の前派／二、島崎藤村／三、田山花袋／四、国木田独歩／五、岩野泡鳴／六、正宗白鳥／七、真山青果／八、徳田秋声）／あとがき／別紙・口絵写真の解説（宇野浩二）

### わが文学遍歴

昭和二十四年七月二十五日発行 白鯨書房 B6判 紙装 二四一

頁 百八十円 装幀・沢野井信夫 紙カバー

§ 明治初期の青春期（一、吉江弧雁と中沢臨川／二、「破戒」「蒲団」「窮死」／三、独歩、春浪、民友社）／外国文学の影響（一、花袋、白鳥、秋江／二、昇曙夢の「ゴオゴリ」と「プウシキン」翻譯／三、内田魯庵の「復活」と広津和郎の翻譯）／昔の訳詩（一、ハイネの詩、柴舟と春月、ヴェルレエヌ、荷風その他／二、シモンズ、ノルドウ、泡鳴、天弦、有明）／晩翠と光太郎／鷗外と漱石と虚子／自由主義その他（一、自由主義／二、反自由主義）／明治末期の青春期（一、白秋、勇、蕉、李太郎、光太郎、その他／二、異国趣味と江戸趣味）／「白樺」と「奇蹟」（一、青年時代の武者小路／二、「奇蹟」と他流試合）

### 一途の道☆

昭和二十四年九月発行 川崎出版社 A6判

### 芥川龍之介

昭和二十八年五月二十日発行 文芸春秋新社 B6判 厚紙装 六五〇頁 七百元（地方売価・七百二十円） 装幀・鍋井克之箱 § まへがき／芥川龍之介（一〜三）／あとがき

\* 普及版・昭和二十八年十月五日発行、定価四百三十円

世にも不思議な物語―私の見た松川事件―

昭和二十八年十二月十五日発行 大日本雄弁会講談社 B6判 厚



紙装 一七四頁 百八十円 紙カバー オビ

§序(広津和郎)／世にも不思議な物語／写真解説

壁の中の青春☆

昭和三十年九月発行 鱗書房 B40判

芥川龍之介(上)

昭和三十年十月二十日発行 文芸春秋新社 B40判 紙装 二九九

頁 百六十円 画・安井曾太郎 紙カバー

§新版「芥川龍之介」／芥川龍之介(上)―思ひ出すままに―

芥川龍之介(下)

昭和三十年十一月十日発行 文芸春秋新社 B40判 紙装 二八六

頁 百六十円 画・安井曾太郎 紙カバー

§口絵写真／芥川龍之介(下)―思ひ出すままに―／あとがき

世にも不思議な物語(角川新書63)

昭和三十年十二月二十日発行 角川書店 B40判 紙装 一九八頁

百円 紙カバー

§世にも不思議な物語／当て事と禪―「世にも不思議な物語」後日

譚―／今は昔の語り草／あとがき／略歴(無署名)

思ひかけない人

昭和三十三年四月二十五日発行 宝文館 四六判 厚紙装 二七八

頁 三百円 装幀・鍋井克之

§口絵写真／文案の世界／河上肇と饅頭／御前文学談／思ひかけない人 野坂・大杉・幸徳／野坂参三への手紙／風流座―に事よせて―

／親の子を思ふ／見世物時代／スポオツの大将／今昔の長崎／今昔の大坂

独断的作家論

昭和三十三年一月二十日発行 文芸春秋新社 B6判 厚紙装 三

五六頁 三百五十円 装幀・鍋井克之 箱

§斎藤茂吉の面目―茂吉の散文とその癖、附、歌のこと―／折口信夫といふ人―折口の少年時代と中学時代(附、折口の詩)／愛読する人間―菊池寛のこと―／文芸放談(一、荷風の戦後の作品―「春借

鳩の街」その他―／二、荷風の隨筆と詩―抜け目のない手際よさ―

／三、荷風と白鳥―終戦の頃の荷風と白鳥の生活／四、鷗外と茂吉―

「平日」と「白桃」にうかがはれる不幸―／哀傷と孤独の文学―織

田作之助の作品―／里見弴／川崎長太郎／稲垣足穂と江戸川乱歩―

稲垣の天性嗜好小説と江戸川の推理探偵小説―／独断的続後感(一、

吉屋信子の近作―吉屋の小説と吉屋の心境／二、火野葦平の力作―

火野流の「赤い国の旅人」／三、村上元三と井上靖の小説―「天保

六道銭」と「風林火山」―／四、長谷川伸の近業―長谷川の近業と

考証小説(附、鷗外の小説)―／忘れ得ぬ一つの話―晩年の島木と

梶井の小説―／「大菩薩峠」について―「大菩薩峠」と介山―／文

芸

芸

芸よもやま談義へ一、加能作次郎の一生―加能の小説と悲惨な晩年―

(附、極端な利己主義者) 一/二、葛西善蔵の一生―葛西の心境小説と晩年

(附、極端な利己主義者) 一/三、牧野信一の一生―特殊な家庭―異

國への憧れ―一所不住の生活―特異の才能―新人の発見―高貴な魂―

極貧の生活―不幸な晩年―/あとがき

芥川龍之介 (筑摩叢書88)

昭和四十二年八月五日発行 筑摩書房 B 6判 紙装 三六三頁

六百八十円 装幀・原弘 紙カバー

S まへがき/芥川龍之介/あとがき

回想の美術

昭和五十一年十月一日発行 東出版 A 5判 厚紙装 二二六頁

二千八百円 表紙・本扉カット・小出楯重 箱

S 口絵写真/回想の美術/小出楯重/小出君の神経/石井柏亭(断

片)/解説―宇野浩二と絵―(水上勉)

文学の三十年 (文芸選書)

昭和五十八年四月二十五日発行 福武書店 B 6判 紙装 二四五

頁 千三百円 紙カバー オビ

S 口絵写真/文学の三十年(まへがき/前篇(一―十一)/後篇(

一―九)/写真解説/解説(紅野敏郎)

文章往来 (スタイルス選書)

昭和五十八年四月三十日発行 スタイルス社 B 6判 紙装 三〇

一頁 千五百円

S 文章往来(口語文の元祖/言文一致の夜明けまで/蘆花・柗牛・

鷗外/漱石・二葉亭・独歩/藤村・眉山・柳浪/岩野泡鳴の文章/

花袋と藤村/武者小路実篤/志賀直哉と菊池寛/芥川龍之介と森鷗

外/夏目漱石/正岡子規・高浜虚子・長塚節/永井荷風/谷崎潤一

郎/志賀直哉/里見淳/久保田万太郎/芥川龍之介/菊池寛/久米

正雄/佐藤春夫/広津和郎/宇野浩二/葛西善蔵/室生犀星/滝井

孝作/井伏鱒二/坪田譲治/川端康成)/描写論(花袋、泡鳴、藤

村、白鳥、青果/三重吉と未明/虚子と漱石と子規/左千夫、節、

茂吉/状态的描写と印象的描写/西洋の文学)/作家の道(葛西善

蔵/岩野泡鳴/田山花袋/森鷗外/谷崎潤一郎/永井荷風/荷風と

潤一郎/武者小路実篤)/解説(波川駿)

文学の青春期

昭和六十一年十二月一日発行 沖積舎 B 6判 布装 三三〇頁

三千円 装釘・戸田ヒロコ 箱 オビ

S 一、斎藤茂吉と青春期(その一、「劇と詩」の頃/その二、「ア

ララギ」の初期の頃)/二、明治末期の青春期(その一、白萩、勇

蕪、李太郎、光太郎、その他/その二、異国趣味と江戸趣味)/三、

初期のロシア文学の翻訳(その一、二葉亭と魯庵の翻訳/その二、

初期の翻訳劇) / 四、初期の純文学書書の出版者 (一) (その一、金尾文淵堂 / その二、洛陽堂と東雲堂) / 五、初期の純文学書書の出版者 (二) (その一、植竹書院と初山書店とアカギ叢書 / その二、博文館と新潮社と叢文閣) / 六、「白樺」と「奇蹟」(その一、青年時代の武者小路 / その二、「奇蹟」と他流試合) / 七、文芸院と芸術院 (その一、「ファウスト」と「ドン・キホーテ」 / その二、岩野泡鳴と与謝野晶子) / 八、白秋と茂吉 (その一、新詩社と白秋 / その二、「アララギ」と茂吉) / 九、茂吉と晶子 / その一、茂吉、赤彦、白秋、牧水 / その二、「みだれ髪」と青踏社) / 十、情熱家の時代 (その一、草平とダヌンチオとワイルド / その二、光太郎と智恵子) / 十一、上方文学の青春期 (その一、酔茗、泣菫、春雨、梅溪、鳥水、夜雨、清白 / その二、「関西文学」と晶子と荷風、附天佑社) / 十二、斎藤茂吉と武者小路実篤 (その一、斎藤茂吉 / その二、武者小路実篤) / 卷末記

### 三、童話・少年少女小説

哀れ知る頃 (家庭物語新集一)

大正五年七月十九日発行 蜻蛉館書店 菊半裁判 紙装 一八〇頁

四十銭 鍋井克之筆

S 序 (星野水裏) / 搖籃の唄の思ひ出 / 国境の時に泣く / 育てた母の心 / 寂しい一生の物語 / 父の国と母の国と (一)、亡き母の国へ / 二、母のお里の手紙 / 三、亡き父の国へ

クオレ物語 エドモンド・ド・アミイチス著 宇野浩二訳

大正六年一月八日発行 蜻蛉館書店 四六判 厚紙装 三一六頁

一円

S はしがき / 物語 (パデュエアの少年愛国者 / ロムバルディ少年の斥候 / フロオレンスの少年筆耕 / サルデニアの少年鼓手 / 爺の看病 / ロオマニアの血 / 勇敢なる少年 / 母を尋ねて三千里 / 難破船) / 手紙 (学校 / 精霊祭 / 我が母 / 貧民 / 感恩 / 愛国 / 希望 / 町 / 姉 / カヴール伯爵 / 労働者の友達 / 畸形児) / 日記 (カラブリアの少年 / 烟突掃除人 / 炭売と紳士 / 囚人 / ウムベルト王 / ギウセツペ / マツチニ / 火災 / ガリバルディ將軍 / 伊太利)

海の夢山の夢

大正九年一月十八日発行 聚英閣 菊半裁判 厚紙装 三八一頁

一円六十五銭 装幀・小出楯重 箱

S 口絵 / 龍介の天上 / さとり御前 / 狼よりも虎よりも / 鏡物がたり / 海の夢山の夢 / 向ふの山 / 春の日の光 / 蔭の臺 / 父の大根畑 / 二匹の犬 / 悲しい兄弟 / 搖籃の唄の思ひ出 / 片葉の蘆 / 涙の泉 / 悲しい歌 / 先生のころ / 誰が身の上 / 晴れ渡る元日

帰れる子（赤い鳥の本7）

大正十年七月二十日発行 赤い鳥社 四六判 厚紙装 二〇四頁

画・清水良雄

§口絵／序／胡桃とチュリップ／さとり御前／奇妙な楽隊／踏の下の神様／鏡ものがたり／王様の巾着／龍介の天上／アイヌ爺さんの話／福の神の正体／帰れる子／搖籃の唄の思ひ出

赤い部屋

大正十二年二月十五日発行 天佑社 四六判 厚紙装 二二二頁

一円四十銭 装幀及挿画・久世勇三

§口絵／聞く地蔵と聞かぬ地蔵／生命の皮／熊虎合戦／とん／拍子／角突き二郎／死神様の正体／王様の歎き／蚊とんぼ物語／我儘太郎／見世物成金

天と地の出来事（第一童話叢書第2）☆

大正十三年二月発行 第一出版協会 四六判

西遊記物語（世界名著撰家庭文庫）

大正十五年四月十八日発行 春秋社 四六判 厚紙装 三八九頁

一円

§西遊記（第一篇）第八篇）

木仏金仏石仏

大正十五年五月二十五日発行 アテネ書院 四六判 厚紙装 二〇〇

七頁 一円二十銭 装幀・亀井実

§口絵／はしがき／開きがり屋／人にすぐれた芸／鬼の草鞋／雪だるま／森の頭になる話／木仏金仏石仏／不仕合せの神様

春を告げる鳥

昭和二年三月二十五日発行 大日本雄弁会講談社 四六判 クロス装 二五三頁 一円五十銭 装幀・寺内万治郎 箱

§春を告げる鳥／胡桃とチュリップ／不仕合せの神様／王様の嘆き／生命の皮／でたらめ経／神様を失ふ話／恐いお使ひ／猫の八郎兵衛／啄木鳥おばあさん／村の地蔵／お菊と小菊／母の声／黒と白の戦

日本童話集(下)（日本児童文庫）

昭和二年十月三日発行 アルス 四六判 厚紙（背布）装 二四七頁 非売品 装幀・恩地孝四郎 口絵挿画・川上四郎

§搖り籃の唄の思ひ出／帰れる子

\*豊島与志雄・楠山正雄・秋田雨雀・浜田広介・鈴木三重吉との合集

西遊記・水滸伝物語（日本児童文庫36）

昭和二年十二月三日発行 アルス 四六判 厚紙（背クロス）装 二四七頁 非売品 装幀・恩地孝四郎 口絵挿画・水島爾保布

§口絵／西遊記物語（第一篇）第七篇）／水滸伝物語（発端）／

二十八)

西遊記物語

昭和三年七月五日発行 春秋社 四六判 紙装 三八九頁

§西遊記物語(第一篇〜第八篇)

父の國と母の國

昭和五年六月五日発行 大日本雄弁會講談社 四六判 クロス装

三〇七頁 一円三十錢 装幀・寺内万治郎 挿絵・寺内万治郎・耳野三郎

母いづこ

§自序／父の國と母の國／阿古太丸／枯木仏と黄金仏／僕は犬である

／正直小判／石の渡し／塔の上の畑／木仏・金仏・石仏／優しい

心―又の題「可愛子ちゃん」―／春の日の光／姉と弟の唄／暑中休

暇の日記―又の題「少女と夜店」―

母いづこ

昭和五年十月一日発行 大日本雄弁會講談社 四六判 布装 三四

四頁 一円三十錢 装幀・寺内万治郎 挿絵・岡本婦一・耳野三郎・

川上四郎・鈴木信太郎・寺内万治郎

§自序／母いづこ／聞きたがり屋／とん／拍子／死に神様の正体

／慾なし爺さん／のらくら太郎／龍介の天上／曲馬団の少年／ねむ

りの御殿／向ふの山／搖籃の唄の思ひ出

花の首輪

昭和六年十月五日発行 大日本雄弁會講談社 四六判 クロス装

三四六頁 一円三十錢 装幀・寺内万治郎 挿絵・田中良・河目梯

二・耳野三郎・鍋井克之・寺内万治郎

§口絵／自序／花の首輪／さとり爺さん／狼よりも虎よりも／人に

すぐれた芸／熊虎合戦／二人の按摩／三番目の娘さん／蚊とんぼ物

語／ピッチョラー(可愛いやつ)―／王様の靴直し／鏡物語／坊ちゃ

んと新聞／恵比須三郎

\*昭和六年十月十日三版発行による。

なつかしき故郷(春陽堂少年文庫10)☆

昭和七年十月発行 春陽堂 菊半裁判

海こえ山こえ(春陽堂少年文庫11)

昭和七年十月十五日発行 春陽堂 菊半裁判 紙装 二二六頁 二

十五錢

§海こえ山こえ／猫の八郎兵衛／僕は犬である／長鼻天つく／王様

と靴直し／鳳凰の羽根／たましひの敵討

水滸伝物語(春陽堂少年文庫38)

昭和七年十月十五日発行 春陽堂 菊半裁判 紙装 一〇八頁 十

錢

§水滸伝物語(発端／一〜二八)

帰れる子(春陽堂少年文庫31)

昭和七年十月十五日発行 春陽堂 菊半裁判 紙装 二二三頁 二十五銭

§ 帰れる子／蚊とんぼ物語／聞きたがり屋／黒と白の戦／正直小判／のらくら太郎／財布の裁判／わがまま太郎／ちゅう助の手柄／頼助の物語／不思議な金魚／不仕合せの神様／二人の按摩

天と地の出来事 〈春陽堂少年少女文庫30〉

昭和七年十一月一日発行 春陽堂 菊半裁判 紙装 二〇九頁 二十五銭 紙カバー

§ 天と地の出来事／塔の上の畑／瓢箪ぢいさん／王様の嘆き／慾はり損／搖籃の唄の思ひ出／ある驢馬の身の上話

西遊記物語後篇 〈春陽堂少年文庫37〉

昭和七年十一月十日発行 春陽堂 菊半裁判 紙装 一八八頁 二十銭

§ 西遊記物語後篇 (1~54)

西遊記物語前篇 〈春陽堂少年文庫36〉

昭和七年十一月十四日発行 春陽堂 菊半裁判 紙装 一九八頁 二十銭

§ はしがき／西遊記物語前篇 (1~52)

フランダースの犬 〈少年世界文庫4〉 ウイダ原作 宇野浩二訳  
昭和十一年六月十日発行 小山書店 菊半裁判 厚紙装 一一七頁

五十銭 画・鍋井克之

§ 口絵／フランダースの犬

西遊記 〈少年世界文庫2〉

昭和十一年六月十日発行 小山書店 菊半裁判 厚紙(背布)装  
一五八頁 五十銭 画・野間仁根 紙カバー

§ 西遊記物語

なつかしの故郷 〈少年少女世界文庫12〉

昭和十一年十一月二十日発行 小山書店 菊半裁判 厚紙(背クロス)装 二二九頁 五十銭 画・鍋井克之

§ 口絵／なつかしの故郷

新イソップ物語

昭和十四年四月三日発行 中央公論社 四六判 布装 三三五頁  
一円六十銭 装幀・挿絵・鍋井克之

§ 口絵／搖籃の唄の思ひ出／ラッパのおかげ／話を買ふ話／曲馬団の少年／慾なし爺さん／雪だるま／海の夢／山の夢／木仏金仏石仏／シャウチキノトク／聞きたがり屋／蚊とんぼ物語／英雄になつた少年／天狗ト百姓／王さまと靴なほし／向ふの山／慾はり損／みんなが夢中／神様を失ふ話／絲クツガ元／三足の熊の家／元のとほりになる話(漁師の話)／王様の嘆き／お父さんの大根畑／春を告げる鳥／龍介の天上／胡桃とチュウリップ／太郎と新聞／二人の按摩

／コジキトフクノカミ／元のとほりになる話（旅人の話）

童話読本・一年生

昭和十四年六月二十日発行 童話春秋社 四六判 厚紙装 二三五

頁 一円 装幀・平賀晟豪 挿画・木俣武

§序／シャウジキノトク／ラッパノオカゲ／キバルトマケル／トブ  
コトノデキルフネ／一スンボフシ／コジキトフクノカミ／ツバメト  
ヘウタン／ウカレバイオリン／カラスノオンガヘシ／タカラクラベ  
／ネズミノサウダン／ヨクナシヂイサン／イトクツガモト／モトノ  
トホリニナルハナシ／ウマトスズメ／ダマシテソンスルーシンノカ  
ハラキタロバノハナシ／コドモトイヌ／ウマトロバ／クジャクト  
ツル／シントハチ

コジキトフクノカミ☆

昭和十五年十二月発行 報国社 A5判

童話読本・四年生

昭和十六年三月五日発行 童話春秋社 四六判 厚紙装 二二六頁

一円 装幀・平賀晟豪 挿画・木俣武

§序／晴れわたる元日／雪だるま／みんながむちゅう／神様をうし  
なふ話／財布の裁判／ビッチョラ（かはいいやつ）／龍介の天上／  
不仕合せの神様／王様と靴なほし／正直小判／僕は犬である

十五少年（世界名作物語）

昭和十六年五月十五日発行 童話春秋社 四六判 厚紙装 三二五

頁 一円五十銭 装幀・木村莊八 挿絵・土村正壽 カバー

§口絵／序／十五少年（第一―第十五）

童話読本・二年生

昭和十六年五月三十日発行 童話春秋社 四六判 厚紙装 二二九

頁 一円 装幀・平賀晟豪 挿画・木俣武

§序／父の大根畑／太郎と新聞／孟子の母／エンリコと鬼／ふたり  
のあんま／父を助ける子／ものぐさ太郎／ねこのハリス／えいゆう  
になった少年／海のゆめ・山のゆめ

向かふの山（新日本児童文庫24）☆

昭和十六年五月発行 アルス B6判

西遊記（世界名作家家庭文庫15）☆

昭和十六年六月発行 主婦之友社 四六判

童話読本・三年生☆

昭和十六年六月発行 童話春秋社 B6判

聞きたがり屋（宇野浩二自選童話集）

昭和十六年六月二十五日発行 時代社 四六判 厚紙装 二八〇頁

一円四十銭 装幀・挿絵・鍋井克之

§まへがき／聞きたがり屋／太郎と新聞／王様の嘆き／父を助ける  
子／木仏金仏石仏／春を告げる鳥／蔭の下の神様／胡桃とチュウリツ

ブ／父の大根畑／英雄になった少年／みんながむちゅう／不仕あは  
せの神様／人にすぐれた芸／ピッチョラ（かはいいやつ）／慾ばり  
万作／瓢箪ちいさん／塔の上の畑／村の地蔵

コドモガテホンへ宇野浩二童話集☆

昭和十六年十月発行 報國社

春の日の光

昭和十六年十一月二十五日発行 桜井書店 四六判 厚紙装 二七

二頁 改正定価一円三十銭 装幀・挿絵・鍋井克之

§序／春の日の光／元のとほりになる話／死に神様の正体／慾なし

爺さん／忠犬物語／春を告げる鳥／財布の裁判／龍介の天上／糸く

づ物語／石の渡し／驢馬物語／太郎と新聞／恵比須三郎／搖籃の唄

の思ひ出

先生の心・長彦と丸彦へ日本童話名作選集 豊島与志雄と共著

昭和十七年十二月二十日発行 新潮社 A5判 紙装 二四四頁

一円八十銭 装幀・野間仁根 挿絵・鍋井克之・田代光

§先生の心／でたらめ経／猫の八郎兵衛／さとり爺さん／忠助の手

柄／命の皮／あとがき（楠山正雄）

オクニノタカラへ新日本幼年文庫

昭和十九年九月二十五日発行 国民図書刊行会 A5判 紙装 三

二頁 一円六十一銭 画・鍋井克之・山本直治

§オクニノタカラ／コジキトフクノカミ／ミンナガムチュウ／キバ  
ルトマケル

龍介の天上

昭和二十一年四月二十日発行 弘文社 A5判 紙装 二六六頁

十円五十銭 装幀・古家新

§人にすぐれた芸／木仏金仏石仏／龍介の天上／神様を失ふ話／石

の渡し／聞きたがり屋／王様の嘆き／話を買ふ話／二人の按摩／不

仕合せの神様／勝つ話と負ける話／王様と理髪師／糸くづ物語／慾

ばり万作／財布の裁判／ピッチョラ（可愛いやつ）／搖籃の唄の思

ひ出

つばめとへうたん

昭和二十一年七月二十五日発行 有明書房 B6判 一〇八頁 六

十円

§もとのとほりになるはなし／つばめとへうたん／うかれバイオリ

ン／とぶことのできるふね／一すんばふし／あとがき

\*昭和二十三年七月二十日再版発行

宇野浩二童話名作選へ日本童話名作集7・PTA文庫

昭和二十二年三月十五日発行 羽田書店 A5判 紙装 一七八頁

二十八円 装幀・挿画・鍋井克之

§著者略歴（無署名）／はれわたる元日／王様のなげき／聞きたが



り屋／もとのとほりになる話（れふしの話／たび人の話）／太郎と新聞／よくばり萬作／へうたんぢいさん／村の地蔵／話をかふ話／二人のあんま／糸くづ物語／春を告げる鳥／神様をうしなふ話／春の日の光／あとがき

名作  
物語 西遊記

昭和二十二年八月十五日発行 光文社 B 6判 紙装 二二四頁

四十八頁 画・堤寒三

§ 西遊記とはどんな本か／著者紹介／西遊記

話を買う話（日本童話名作選）

昭和二十二年十一月二十日発行 光文社 B 6判 紙装 一五〇頁

五十頁 絵・河目梯二

§ 著者紹介／かとおんば物語／みんながむちゅう／聞きたがりや／龍介の天上／話を買う話／雪だるま／木仏金仏石仏／ラッパのおかけ／むこうの山／よくなしじいさん／よくばり損／王様のなげき

西遊記

昭和二十三年四月二十日発行 弘文社 四六判 紙装 二二七頁

七十頁 装幀・挿絵・鍋井克之

§ 西遊記物語／水滸伝物語

王さまの嘆き（あおぞら文庫）

昭和二十三年五月二十五日発行 国民学芸社 B 6判 紙装 九十

一頁 四十五頁 装幀・栗原碧

§ 王さまの嘆き／春を告げる鳥／ゆりかごの歌の思い出／太郎としんぶん／元のとおりになる話／はれわたる元日

月夜に森の中では（日本児童文学選1）

昭和二十三年六月一日発行 前田出版社 B 6判 紙装 三一五頁

百三十頁 表紙・赤松俊子 口絵・富水秀夫・濱野政雄 カット・河太郎

§ 口絵／お母さまがたへ（編集者）／春を告げる鳥／かれ木のほとけさまと金んこのほとけさま／ひとにすぐれた芸

ねずみのすもう（こどもかい文庫）

昭和二十三年七月三十日発行 桜井書店 B 6判 紙装 三二頁

十五頁 表紙・挿絵・武井武雄

§ まへがき／和尚と地蔵／猫とねずみ／ねずみのすもう／あっしまった／餅のあらそい／かれ木のほとけと金のほとけ

ふきの下の神さま

昭和二十三年十二月五日発行 童話春秋社 B 6判 紙装 二〇八

頁 百頁 装幀・挿絵・藤澤龍雄

§ むこうの山／ひょうたんじいさん／村の地蔵／くるみとチュールツブ／ふきの下の神さま／海のゆめ・山のゆめ／忠天物語／龍介の天上／人にすぐれた芸／ききたがりや／王さまのなげき／ゆりかごの

歌の思い出

なつかしき故郷☆

昭和二十四年二月発行 崇文館 B 6判

春を告げる鳥〈赤い鳥名作童話読本4〉

昭和二十四年九月三日発行 明日香書房 B 6判 厚紙装 一六一

頁 百二十頁 装幀・挿絵・鍋井克之

S 序(坪田譲治・与田準一・木内高音)／春をつげる鳥／父のだい  
 こん畑／ふしあわせの神さま／よくなしじいさん／よくばりぞん／  
 元のとおりになる話へ一、りょうしの話／二、たび人の話／ゆり  
 かごの唄／あとがき

十五少年☆

昭和二十四年三月発行 童話春秋社 B 6判

母いづこ☆

昭和二十四年六月発行 文潮社

孫悟空と八戒〈講談社の絵本〉

昭和二十四年十二月発行 大日本雄弁会講談社 B 5判 四八頁

百三十頁 挿絵・本田庄太郎・宮尾しげを

S 「孫悟空と八戒」について／孫悟空と八戒

\* 初版未確認。昭和三十三年七月十日発行による。

孫悟空 火の山の巻〈講談社の絵本〉

昭和二十五年一月発行 大日本雄弁会講談社 B 5判 四八頁 百  
 三十頁 絵・宮尾しげを

S 「孫悟空火の山の巻」について／孫悟空火の山の巻

\* 初版未確認。昭和三十三年七月一日発行による。

海の夢山の夢〈日本童話小説文庫7〉

昭和二十五年二月十五日発行 小峰書店 B 6判 厚紙(背クロス)

装 三三四頁 二百三十頁 装幀・恩地孝四郎 挿絵・鍋井克之

箱

S 口絵写真／まえがき(与田準一)／熊虎合戦／曲馬団と少年／天  
 国のゆめ／黒白合戦／くるみとチューリップ／龍介の天上／わがま  
 ま太郎／村の地蔵／三味線林／福の神の正体／よくなしじいさん／  
 ひょうたんじいさん／雪だるま／春をつげる鳥／ふきの下の神さま  
 ／よくばりぞん／晴れわたる元日／春の日の光／石のわたし／海の  
 ゆめ山のゆめ／太郎と新聞／むこうの山／父のだいこん畑／王さま  
 のなげき／ピッチョラ(かわいいやつ)／ゆりかごの唄／智恵と人  
 情の童話(与田準一)

春をつげる鳥・長彦と丸彦〈日本童話名作選集〉

昭和二十五年五月十五日発行 三十書房 A 5判 厚紙装 二二六

頁 二百二十頁(地方売価・二百三十頁) 装幀・初山滋 挿絵・

緑川廣太郎・瀬島好正

§春をつげる鳥／ふたりのあんま／糸くず物語／勝つ話と負ける話  
／人にすぐれた芸／かとおんぼ物語／あとがき（楠山正雄）

十五少年漂流記〈中学生全集15〉

昭和二十五年十一月五日発行 筑摩書房 B 6判 厚紙装 一三一  
頁 百八十円 装幀・倉田登 口絵挿画・田所満夫 箱

§十五少年漂流記（第一―第十五）／読者のために

\*昭和二十七年七月十日再版発行による。

きつねの裁判☆ ゲーテ原作訳

昭和二十五年十二月発行 童話春秋社 B 6判

西遊記物語〈世界名作全集14〉

昭和二十六年三月十日発行 大日本雄弁会講談社 B 6判 厚紙

（背クロス）装 二七四頁 二百円 装幀・栗川剛一 表紙・口絵・

さしえ・耳野卯三郎 箱

§口絵／この物語について／西遊記物語／解説―原作者と作品につ  
いて―（那須辰造）

もとのとおりになる話〈世界名作童話全集23〉

昭和二十六年十月三十日発行 大日本雄弁会講談社 A 5判 厚紙  
（背クロス）装 一八五頁 百八十円 装幀・恩地孝四郎 表紙・

口絵・挿絵・鍋井克之

§口絵／この本を読む人に／もとのとおりになる話／ふくの神とこ

じき／とぶことのできるふね／よくなしじいさん／よくばりぞん／  
二わのはと／おじいさんにまける話／金貨の山／びんぼう神／かね  
もちとくつや／しょうじきな人とずるい人／かえる姫／「もとのと  
おりになる話」について

春をつげる鳥〈小学生全集11〉

昭和二十六年十一月三十日発行 筑摩書房 A 5判 一八二頁 百  
三十円 装幀・庫田登 表紙絵・口絵・挿絵・小林久三

§春をつげる鳥／みんながむちゅう／木ぶつ金ぶつ石ぼとけ／ゆき  
だるま／ねずみのすもう／むこうの山／かれ木ぶつとこがねぶつ／  
モチのあらい／ふきの下のかみさま／くるみとチューリップ／お  
しょうとじぞう／ねことねずみ／ききたがりや／ふたりのあんま／  
ゆりかごのうたのおもいで

きつねのさいばん〈世界絵文庫31〉

昭和二十七年三月二十日発行 あかね書房 B 6判変形 六〇頁  
都内定価・百三十円（地方定価・百三十五円） 絵・桂川寛

§きつねのさいばん／皆さま方へ（あかね書房）

母をたずねて〈講談社の絵本〉

昭和二十七年三月三十日発行 大日本雄弁会講談社 B 5判 紙装  
四九頁 百三十円 絵・松田文雄

§「母をたずねて」について／母をたずねて

ふきの下の神さま☆

昭和二十七年発行 同和春秋社

小公子〈世界童話名作全集〉

昭和二十八年一月十日発行 鶴書房 A5判 厚紙装 一四二頁

百六十円（地方売価・百六十五円） 装幀・口絵・挿絵・島野圭右

§口絵／まえがき／小公子／「小公子」について

文芸童話集〈世界少年少女文学全集30〉

昭和二十八年九月一日発行 創元社 A5判 クロス装 三九三頁

三百八十円 装幀・とびら絵・初山滋 さし絵・脇田和・中谷泰・

稗田一穂

§口絵／宇野浩二（春を告げる鳥／雪だるま／龍介の天上）／解説

（坪田譲治）

ピノキオ〈世界名作童話全集12〉

昭和二十八年九月二十五日発行 鶴書房 A5判 厚紙（背クロス）

装一七〇頁 百六十円（地方売価・百六十五円） 装幀・島野圭

右 表紙・口絵・挿絵・相沢光郎

§口絵／まえがき／ピノキオ／「ピノキオ」について

母をたずねて〈講談社の絵本65〉

昭和二十八年十月五日発行 大日本雄弁会講談社 B5判 紙装

四八頁 百三十円 絵・松田文雄

§「母をたずねて」について／母をたずねて

世界名作童話集2〈講談社の絵本 特製版〉

昭和二十八年十一月五日発行 大日本雄弁会講談社 B5判 厚紙

装一〇八頁 三百二十円 絵・嶺田弘

§「うかれバイオリン」について／世界おとぎばなし・うかれバイ

オリン／フレッドのうた

家なき子〈世界名作文庫〉☆

昭和二十八年十一月発行 偕成社 B6判

グリム童話1〈トッパンの絵物語〉

昭和二十八年十二月十五日発行 トッパン 縦20幅横17幅5耗 四

〇頁 百五十円 え・杉全直 紙カバー

§金のがちよう／白雪姫／うさぎとはりねずみ／六人のごうけつ／

グリム兄弟のこと／発刊のことは（トッパン出版部）

日本児童文学全集5〈童話篇5〉

昭和二十八年十二月二十日発行 河出書房 A5判 厚紙（背クロ

ス）装 三三八頁 四百五十円 装幀及び外圍意匠・須田寿 目次・

色刷口絵及び本文カット・緑川広太郎・木野村福子 色刷口絵及び

本文カット・安部真知

§宇野浩二集（作者の言葉／作者の略歴／くるみとチュウリップ／

ひょうたんじいさん／春を告げる鳥／ふきの下の神さま／海のゆめ

山のゆめ) 一〜五四頁/かいせつ(浜田広介)

\*豊島与志雄・江口渙・山村暮鳥・相馬泰三・千葉省三との合集。

グリム童話2(ヘトツパンの絵物語)

昭和二十九年三月十日発行 トツパン 縦20欄横17欄5牋 厚紙装

四〇頁 百五十円 絵・堀文字

§運のいいハンス/野ばら姫/三つのねがい/ヘンゼルとグレーテル/グリムの童話/発刊のことは(トツパン出版部)

春をつげる鳥・長彦と丸彦(日本童話名作選集(特製版)) 豊島与志雄と共著

昭和二十九年四月十五日発行 三十書房 A5判 厚紙(背クロス)

装 二六頁 二百八十円(地方価・二百九十円) 装幀・初山滋

挿絵・緑川広太郎・瀬島好正 箱

§春をつげる鳥/ふたりのあんま/糸くず物語/勝つ話と負ける話/人にすぐれた芸/かとおんぼ物語/あとがき(楠山正雄)

\*昭和三十三年十一月十五日発行版あり。

春をつげる鳥(第一期学校図書館文庫44)

昭和二十九年四月十八日発行 牧書店 四六判 厚紙装 二二二頁

百八十円 装幀・福田豊四郎 口絵・さしえ・安泰

§口絵/この本の読み方・宇野浩二の童話(及川甚喜)/春をつげる鳥/ピッチョラ(かわいいやつ)/黑白合戦/よくばりぞん

よくばり万作/雪だるま/春の日の光/ふきの下の神さま/かみさまをうしなう話/『ゆりかこの歌』の思い出/ゆりかこの歌/話を買う話/三びきのクマの家/王さまとくつなおし/くるみとチュウリップ/石のわたし/もとのとおりになる話/漁師(りょうし)の話/本のおつかいかた(もり・きよし)/この本を著わした人/この本をつくるのに協力した人びと/刊行のことは  
グリム童話3(ヘトツパンの絵物語)

昭和二十九年五月発行 トツパン 縦20欄横17欄5牋 厚紙装 四〇頁 百五十円 絵・村上松次郎

§ブレーメンの音楽隊/三人きょうだいの三つのたから/金の毛が三本ある鬼/おおかみと七ひきの子やぎ/グリム童話について/発刊のことは(トツパン出版部)

\*奥付け刊記なし。

さいゆうき(小学生全集56)

昭和二十九年九月三十日発行 筑摩書房 A5判 紙(背クロス) 装 一九五頁 百九十円(地方売価・二百円) 装幀・庫田毅 表

紙絵・口絵・挿絵・永井潔

§口絵/この物語について/さいゆうき/この本を書いた人

日本児童文学大系2

昭和三十年八月三十日発行 三一書房 B6判 クロス装 四二七

頁 五百三十円

§ 口絵写真／王様のなげき（一四四〜一五四頁）／解説（関英雄）  
／日本児童文学年表（二）（菅忠道・鳥越信）

菊池寛・宇野浩二集（少年少女のための現代日本文学全集14）

昭和三十年十二月二十四日発行 東西文明社 A5判 厚紙（背クロス）装 二五三頁 二百五十円 装幀・青山龍水 カット・山本耀也

§ 口絵写真／この本を読む人に（久松潜一・伊藤整・福田清人）／宇野浩二集（心の古里／北斎のだるま／少年時代／富士見高原／母と貯金箱／熊と虎／尊徳と凶作／祖母の死／閑人閑話／大地震の時／はげしい空襲／疎開さきの家／むこうの山／王様の嘆き／解説

（十返璧）

うかれバイオリン（講談社の絵本）☆

昭和三十一年七月発行 講談社 B5判

にほんむかしはなし（世界幼年文学全集10）

昭和三十一年八月十日発行 宝文館 A5判 厚紙装 二四二頁

三百円 装幀・挿画・池田仙三郎 紙カバー

§ 口絵／はじめに／つばめとひょうたん／一すんぼうし／ねことねずみ／みんながむちゅう／かれ木ぶつとこがねぶつ／もちのあらそい／おしょうとじぞう／てんぐとひゃくしょう／ものぐさたろう／

はなしをかうはなし／ねずみのすもう／さくらがいのしらべ／みょうがりょうり／いとくずがもと／あまがえる／なまけくらべ／てんぐのはなし／三にんのちからもち／あかいしかのかお／おおみそかのものうり／解説（周郷博）

日本幼年童話全集1

昭和三十一年十月十日三版発行 河出書房 A5判 厚紙（背クロス）装 二八一頁 三百八十五円（地方定価・三百九十円） 装本・

須田寿 口絵・挿絵・いわさきちひろ 挿絵・高橋秀

§ 口絵／宇野浩二（つばめとひょうたん／ねずみのすもう／ゆきだるま）（二二九〜二六六頁）／かいせつ（浜田広介）

\* 初版発行年月日未確認。

宇野浩二集（新日本少女文学全集21）

昭和三十四年十二月三十日発行 ポプラ社 A5判 クロス装 二

九六頁 三百円 装幀・武井武雄・挿絵・大石哲路

§ まえがき／ふきの下の神さま／春をつげる鳥／くるみとチューリップ／ひょうたんじいさん／海の夢山の夢／ふたりのあんま／糸くず物語／勝つ話と負ける話／人にすぐれた芸／かとおば物語／熊虎合戦／曲馬団と少年／天国の夢／黒白合戦／三味線林／福の神の正体／雪だるま／晴れわたる元日／春の日の光／むこうの山／王さまのなげき／ピッチョラ／ゆりかこの歌の思い出／文章の研究（第一章

一、文章のわけかた／二、写生の文章／三、歌と俳句のこと／第二章一、もっとも必要な文章／二、代表的な記事文／三、紀行文（その二）／四、紀行文（その二）／第三章一、抒情文／二、叙事文／解説・与田準一詩歌と童話を愛する無類の文学者宇野浩二／読書指導・室谷幸吉・鈴木博・宇野浩二の年譜・宇野浩二の作品と教科書との連絡・宇野浩二の主な作品集

西遊記〈少年少女世界名作全集27〉

昭和三十五年十二月二十日発行 講談社 B6判 厚紙(背クロス)装 三一八頁 二百円 装本・レイアウト・安野光雅 箱絵・挿絵・久米宏一

§口絵／この物語について／西遊記／解説―この物語と作者について―

家なき子・アルプスの少女(幼年世界文学全集10) 川崎太治と共著

昭和三十六年七月十五日発行 偕成社 A5判 クロス装 二一〇頁 二百五十円 装幀・荒尾元・河添宗輔・近藤聰・横井大祐 挿絵・武部本一郎・辰巳まさえ

§刊行のことは／口絵／みなさんへ(宇野浩二)／家なき子／解説―  
“家なき子・アルプスの少女”について―(那須辰造)／読書指導―  
“家なき子” “アルプスの少女”の与え方―(阪本一郎・堀内輝三)

ピノキオ〈世界童話名作全集7〉

昭和三十六年九月五日発行 鶴書房 A5判 厚紙(背クロス)装 一七六頁 二百五十円 装幀・島野圭右 口絵・新井五郎 挿絵・相沢光郎 表記校閲・若原三雄

§刊行のことは／口絵／この本のはじめに／ピノキオ／ことばのせつめい／「ピノキオ」について

小公子〈世界童話名作全集8〉

昭和三十六年九月五日発行 鶴書房 A5判 厚紙(背クロス)装 一四九頁 二百五十円 装幀・島野圭右 口絵・挿絵・島野圭右 表記校閲・若原三雄

§刊行のことは／口絵／このものがたりにでてくる人びと／小公子／ことばのせつめい／「小公子」について

いなこの大旅行・春をつげる鳥・佐藤春夫・宇野浩二童話集(日本児童文学全集6)

昭和三十六年十一月十五日発行 偕成社 A5判 布装 二四六頁 三百五十円 装幀・沢田重隆 さし絵・安部真知・谷中安規・高橋秀

§宇野浩二童話集(春をつげる鳥／ひょうたんじいさん／海のゆめ山のゆめ／ふきの下のかみさま／くまごら合戦／くるみとチューリップ)／解説(福田清人)

## 西遊記物語〈世界名作全集14〉

昭和三十六年十二月十日発行 講談社 B6判 厚紙(背クロス)装 三五七頁 二百円 装幀・梁川剛一 表紙・図絵・挿絵・耳野卯三郎

§この物語について／この物語のおもな人々／西遊記物語／解説／原作者と作品について(那須辰造)

## 春をつげる鳥〈日本童話名作選集11〉

昭和三十七年三月十五日発行 三十書房 A5判 クロス装 二四六頁 三百八十円 装幀・福田庄助 挿絵・吉崎正己 箱

§まへがき(与田準一)／ふきの下の神さま／雪だるま／よくばりぞん／村のじぞう／わがまま太郎／春をつげる鳥／ふたりのあんま／糸くず物語／勝つ話と負ける話／人にすぐれた芸／かとなぼ物語／宇野浩二について一人と作品(与田準一)／《読書指導》すじを通して考えよう(「ふきの下の神さま」をめぐって)(斎藤幸一)

## 日本文芸童話集〈世界童話文学全集16〉

昭和三十七年五月一日発行 講談社 A5判 三二九頁 三百九十円 クロス装 装本・秋岡芳夫・レイアウト・安野光雅 挿絵・富永秀夫・中尾彰・初山滋・深沢紅子

§はじめに／つばめとひょうたん(六〇八頁)／解説(与田準一)／読書の手引き(滑川道夫・亀村五郎)

## 少年少女世界文学全集48日本編4〈現代日本文学名作集〉

昭和三十七年五月一日発行 講談社 菊判 クロス(背皮)装 四二二頁 四百二十円 装本・池田仙三郎 さしえ・富永秀夫・太田大八・深沢紅子・山崎百々雄・中尾彰・斎藤三郎・谿伊之助

§この巻の内容について(福田清人)／宇野浩二(春をつげる鳥)二二九～二四二頁／解説(福田清人)／読書指導(滑川道夫・斎藤喜門)

## 日本童話選〈少年少女世界名作文学全集28〉

昭和三十七年八月五日発行 小学館 B6判 厚紙装 三二七頁 二百円 装幀・沢田重隆 挿絵・大石哲路・井江春代・井口文秀・駒宮録郎・矢車涼

§この童話を読む前に(小川未明)／宇野浩二(春をつげる鳥)二〇二～二〇頁／執筆者略歴

\*昭和三十八年七月一日再版発行による。

## さいゆうき〈新版小学生全集11〉

昭和三十七年九月十五日発行 筑摩書房 A5判変形型 クロス装 一九五頁 三百四十円 口絵・挿絵・永井潔

§口絵／この物語について／さいゆうき〈第一編／第七編〉

## 西遊記〈少年少女世界名作全集27〉

昭和三十七年十一月三十日発行 講談社 B6判 厚紙(背クロス)



装 三一八頁 二百三十円 装本・レイアウト・安野光雅 箱絵・

挿絵・久米宏一 箱

§ 口絵／この物語について／西遊記／解説―この物語と作者について―

春を告げる鳥〈新版小学生全集83〉☆

昭和三十八年四月発行 筑摩書房

少年少女日本文学全集5〈芥川龍之介・菊池寛・豊島与志雄・宇

野浩二〉

昭和三十八年十月十五日発行 講談社 菊判 布装 三九八頁 四

百二十円 製本・中島靖侃 表紙・市川禎男 挿絵・太田大八・富

永秀夫 レイアウト・安野光雅

§ 宇野浩二（宇野浩二の人と作品について〈福田清人〉／ゆりかこの歌の思い出／春をつげる鳥／ふきの下の神さま／海のゆめ山のゆめ）／解説―宇野浩二の人と作品―（福田清人）／読書指導―作品をどう読んだらよいか―（日本文学教育連盟〈菅忠道・久米井束〉）

にほんむかしばなし〈世界のひらがな童話29〉

昭和四十年九月十五日発行 岩崎書店 A5判 クロス装 二四二

頁 三百六十円 装幀・ハチ・プロダクション 挿絵・池田仙三郎

§ 口絵／みなさんへ／つばめとひょうたん／―すんぼうし／ねことねずみ／みんながむちゅう／かれ木ぶつとこがねぶつ／もちのあら

そい／おしやうとじぞう／てんぐとひやくしやう／ものぐさたらう

／はなしをかうはなし／ねずみのすもう／さくらがいのしらべ／みょうがりより／いとくずがもと／あまがえる／なまけくらべ／てんぐのはな／三にんのちからもち／あかいしかのかお／おおみそかのものうり／解説（周郷博）

現代日本名作集〈少年少女世界文学全集〉

昭和四十年十一月十八日発行 講談社 B6判 クロス装 四〇六

頁 三百九十円 装本・安野光雅 箱絵・中島靖侃 カット・依光

隆 題簽原画・久保孝雄 口絵・挿絵・市川禎男・久米宏一・小松

久子 箱

§ 「現代日本名作集」について（石森延男）／海のゆめ山のゆめ／解説（石森延男）／風土記―知多半島から北海道まで―（石森延男）／読書指導―短篇の味わいかた―（久米井束・大島健二郎）

少年少女新世界文学全集日本現代篇〈現代日本名作集38〉

昭和四十年一月十八日発行 講談社 A5判 クロス装 四〇六頁

四百二十円 製本・安野光雅 箱絵・中島靖侃 カット・依光隆

題簽原画・久保孝雄 口絵・挿絵・市川禎男・久米宏一・小松久

子  
§ 宇野浩二（海のゆめ山のゆめ）／解説（石森延男）／風土記―知多半島から北海道まで―（石森延男）／読書指導―短篇の味わいか

たー(日本文学教育連盟〈久米井束・大島健二郎〉)

少年少女世界の名作文学48(日本編4)

昭和四十二年一月二十日発行 小学館 A5判 クロス装 四九七

頁 四百八十頁 ブックデザイン・A・D(沢田重隆) D(坂野

豊)

§はじめに(浜田広介)／口絵／「曲馬団と少年」を読むまえに／

曲馬団と少年／解説―「坊っちゃん」「山椒大夫」「耳なし芳一の

話」「赤いろうそくと人魚」「杜子春」「海底軍艦」<sup>は</sup>かについて―

(滑川道夫)／表紙絵解説―\*「墨子像」西洋写実主義と東洋写生

画の精神を結びつけた天才画家―(伊藤廉)／読書のでびき(森久

保仙太郎)

ふきの下の神さま(日本標準の小学生文庫―)

昭和四十三年四月一日発行 図書出版部 A5判 紙装 四〇頁

五十頁 表紙・さし絵・久米宏一

§日本標準の小学生文庫発刊にあたって(阪本一郎・滑川道夫)／

作者と作品について(無署名)／ふきの下の神さま／読書の手引き

(無署名)／百しようがてんぐに勝った話／読書の手引き(無署名)

\*監修者・阪本一郎・滑川道夫

\*編集者・日本標準の小学生文庫編集委員会

にほんむかしばなし(幼年名作としょかん28)☆

昭和五十二年一月発行 岩崎書店 A5判

日本児童文学大系9

昭和五十二年十一月二十日発行 ほるぶ出版 A5判 布装 五九

六頁 装幀・武井武雄 箱

§口絵写真／宇野浩二集(搖籃の唄の思ひ出／寂しい一生の物語／

父の国と母の国と／龍介の天上／さとり御前／海の夢山の夢／春の

日の光／先生のごころ／落の下の神様／アイヌ爺さんの話／福の神

の正体／角突き二郎／蚊とんぼ物語／木仏金仏石仏／春を告げる鳥

／注(成尾正治)／宇野浩二解説―童話作家としての宇野浩二―

(紅野敏郎)／宇野浩二年譜(紅野敏郎)／宇野浩二参考文献(紅

野敏郎)

#### 四、文庫本

恋愛合戦(新潮文庫9)

昭和四年二月一日発行 新潮社 四六判 紙装 四二七頁 一円

§恋愛合戦

苦の世界(改造文庫・第2部193)

昭和七年十一月十一日発行 改造社 菊半截判 布装 二八八頁

三十銭

§ 苦の世界その一（一）、私といふ人間／二、浮世風呂／三、難儀な生活／四、無為と人々／五、をんなの始末）／その二（一）、哀れな老人達／二、花屋敷にて／三、私の伯父の一生／四、浮世の二人男／五、流転世界）／その三（一）、さ迷へる魂その一／二、さ迷へる魂その二／三、津田沼行その一／四、津田沼行その二）／その四（一）、人の身の上その一／二、人の身の上その二）

山恋ひ（改造文庫・第2部194）

昭和七年十一月三十日発行 改造社 菊半裁判 布装 三三九頁  
四十銭

§ 山恋ひ（前篇／後篇）／一と踊／心中／人心

子を貸し屋・蔵の中他三篇（春陽堂文庫103）

昭和九年十一月二十日発行 春陽堂 菊半裁判 紙装 二〇二頁  
二十五銭

§ 序に代へて／子を貸し屋／空しい春／蔵の中／あの頃の事

恋愛合戦（新潮文庫340）

昭和十三年十二月十三日発行 新潮社 四六判 紙装 四三二頁  
七十銭

§ 恋愛合戦／跋

蔵の中他四篇（改造文庫・第2部387）

昭和十四年八月十六日発行 改造社 菊半裁判 紙装 二六五頁

五十銭

§ 蔵の中／屋根裏の法学士／長い恋仲／若い日の夢／あの頃の事／  
あとがき―自画自讃のやうな―

心つくし（手帖文庫第2部12）

昭和二十二年六月二十日発行 地平社 菊半裁判 紙装 一四三頁  
十四円

§ 心つくし／四人ぐらし

枯野の夢（日本文学選13）

昭和二十二年六月二十五日発行 光文社 菊半裁判 一七五頁 二  
十五円

§ 枯野の夢／子の来歴／解説（背野季吉）

蔵の中（新潮選書4）

昭和二十二年十二月二十五日発行 文潮社 菊半裁判 紙装 一八  
七頁 四十五円

§ 蔵の中／屋根裏の法学士／転々／耕右衛門の改名／解説（上林暁）

子を貸し屋（新潮文庫）

昭和二十五年一月二十日発行 新潮社 菊半裁判 紙装 二四三頁  
百円

§ 人心／一と踊／あの頃の事／子を貸し屋／解説（川崎長太郎）

\* 昭和四十一年七月十五日十一刷による。

蔵の中・子を貸し屋他三篇〈岩波文庫〉

昭和二十六年六月二十五日発行 岩波書店 菊半裁判 紙装 二一〇頁

〇頁 八十頁

§蔵の中／一と踊／屋根裏の法学士／暗れたり君よ／子を貸し屋／あとがき

苦の世界〈岩波文庫〉

昭和二十七年二月二十五日発行 岩波書店 菊半裁判 紙装 三二一頁 百二十頁

§苦の世界その一(一)、私といふ人間／二、浮世風呂／三、難儀な生活／四、無為の人びと／五、をんなの始末)／苦の世界その二(一)、あはれな老人たち／二、花屋敷にて／三、私の伯父の一生／四、浮世の二人男／五、流転世界)／苦の世界その三(一)、さ迷へる魂その一／二、さ迷へる魂その二／三、津田沼行その一／四、津田沼行その二)／苦の世界その四(一)、人の身の上その一／二、人の身の上その二)／苦の世界その五(一)、ある年の瀬その一／二、ある年の瀬その二／三、ある年の瀬その三／四、ある年の瀬その四)／苦の世界その六(一)、ことごとく作り話その一／二、ことごとく作り話その二)／あとがき

\* 改版発行に「解説」(山本健吉)を付す。

小説の文章〈近代文庫22〉

昭和二十八年四月二十日発行 創芸社 菊半裁判 紙装 一三〇頁

八十頁

§小説の文章(口語文の元祖／言文一致の夜明けまで／蘆花・櫻牛・

鴟外／漱石・二葉亭・独歩／藤村・眉山・柳浪／岩野泡鳴の文章／花袋と藤村／武者小路実篤／志賀直哉と菊池寛／芥川龍之介と森鷗外／夏目漱石／正岡子規・高浜虚子・長塚節／永井荷風／谷崎潤一郎／志賀直哉／里見弴／久保田万太郎／芥川龍之介／菊池寛／久米正雄／佐藤春夫／広津和郎／宇野浩二／葛西善蔵／室生犀星／滝井孝作／井伏鱒二／坪田譲治／川端康成／横光利一／宮本百合子／丹羽文雄／舟橋聖一／坂口安吾／高見順／太宰治／石川淳／織田作之助)／作家の印象(里見弴／芥川龍之介／佐藤春夫／広津和郎)

宇野浩二集〈市民文庫29〉

昭和二十九年一月十日発行 河出書房 菊半裁判 紙装 一六七頁

八十頁

§著者略歴／口絵写真／蔵の中／空しい春(或は春色梅之段)／枯木のある風景／秋の心／解説(山本健吉)

枯木のある風景・枯野の夢〈岩波文庫〉

昭和二十九年九月五日発行 岩波書店 菊半裁判 紙装 一二六頁

四十頁

§枯木のある風景／枯野の夢／あとがき

思ひ川〈角川文庫〉

昭和三十一年十一月十五日発行 角川書店 菊半裁判 紙装 二六六頁 百円

§思ひ川(あるひは 夢みるやうな恋)／相思草(「思ひ川」続篇)

／あとがき／解説(広津和郎)

芥川龍之介上巻〈中公文庫〉

昭和五十年八月十日発行 中央公論社 菊半裁判 紙装 二九四頁

三百二十円 表紙・扉・白井晟一 カバー

§芥川龍之介―思ひ出すまに―(まへがき／一〜十四)

芥川龍之介下巻〈中公文庫〉

昭和五十年八月十日発行 中央公論社 菊半裁判 紙装 二九二頁

三百二十円 表紙・扉・白井晟一 カバー

§芥川龍之介下巻(十五〜二三)／解説(水上勉)

五、著作集・個人全集

枯木のある風景へ宇野浩二著作集↑

昭和二十八年三月五日発行 乾元社 B6判 紙装 三三三頁 四

百円 紙カバー

§口絵写真／枯木のある風景／晴れたり君よ／夢の通ひ路／終の栖

／あの頃の事／器用貧乏／あとがき

文学の青春期〈宇野浩二著作集2〉

昭和二十八年六月三十日発行 乾元社 B6判 厚紙装 三三〇頁

四百円 装幀・鍋井克之 紙カバー

§口絵写真／一、斎藤茂吉と青春期／二、明治末期の青春期／三、

初期のロシヤ文学の翻訳／四、初期の純文学書の出版者(一)／五、

芸院と芸術院／八、白秋と茂吉／九、茂吉と晶子／十、情熱家の時

代／十一、上方文学の青春期／十二、斎藤茂吉と武者小路実篤／卷

末記

宇野浩二全集第一巻

昭和四十三年七月二十五日発行 中央公論社 A5判 布装 四七

五頁 三千円 箱

§口絵写真／清二郎夢見る子／屋根裏の法学士／蔵の中／苦の世界

／長い恋仲／耕右衛門の改名／転々／人心／あの頃の事／因縁事／

美女／あとがき(渋川隼)

\*普及版昭和四十七年四月二十日発行

宇野浩二全集第二巻

昭和四十三年八月二十六日発行 中央公論社 A5判 布装 四五

八頁 三千円 箱

§口絵写真／恋愛合戦／化物／若い日の事／高い山から／甘き世の

話／あとがき（渋川驍）

\*普及版昭和四十七年五月二十日発行

宇野浩二全集第三巻

昭和四十三年九月二十五日発行 中央公論社 A5判 布装 四六

三頁 三千元

§口絵写真／橋の上／八木彌次郎の死／遊女／空しい春／一と踊／  
滅びる家／歳月の川／夏の夜の夢／心中／或る青年男女の話／二人  
の青木愛三郎／屋根裏の恋人／夢見る部屋／青春の果／山恋ひ／子  
を貸し屋／あとがき（渋川驍）

\*普及版昭和四十七年六月二十日発行

宇野浩二全集第四巻

昭和四十三年十一月二十五日発行 中央公論社 A5判 布装 四

六二頁 三千元 箱

§或る春の話／四人ぐらし／ちゃんぼん廻り／従兄弟の公吉／俳優  
／心つくし／鯛焼屋騒動／東館／お蘭の話／昔がたり／古風な人情  
家／晴れたり君よ／四方山／鼻提灯／さ迷へる蠟燭／見残した夢／  
浮世の窓／思ひ出の記／人癩癩／千万老人／如露／人に問はれる／  
あとがき（渋川驍）

\*普及版昭和四十七年七月二十日発行

宇野浩二全集第五巻

昭和四十三年十二月二十五日発行 中央公論社 A5判 布装 四

一八頁 三千元 箱

§口絵写真／十軒路地／従兄弟同志／足りない人／高天ヶ原／出世  
五人男／「木から下りて来い」／あとがき（渋川驍）

\*普及版昭和四十七年八月十五日発行

宇野浩二全集第六巻

昭和四十四年二月二十五日発行 中央公論社 A5判 布装 四六

四頁 三千元 箱

§口絵写真／軍港行進曲／日曜日／恋の軀／枯木のある風景／枯野  
の夢／子の来歴／湯河原三界／女人往来／人さまざま／線香花火／  
女人不信／人間往来／文学の鬼／夢の跡／旅路の芭蕉／終の栖／あ  
とがき（山本健吉）

\*普及版昭和四十七年九月二十日発行

宇野浩二全集第七巻

昭和四十四年四月二十五日発行 中央公論社 A5判 布装 四七

三頁 三千元 箱

§風変わりな一族／閑人閑話／夢の通ひ路／鬼子と好敵手／母の形見  
の貯金箱／楽世家等／器用貧乏／木と金の間／善き鬼・悪き鬼／人  
間同志／二つの道／身の秋／水すまし／あとがき（山本健吉）

\*普及版昭和四十七年十月二十日発行

宇野浩二全集第八卷

昭和四十四年五月二十四日発行 中央公論社 A5判 布装 四五

九頁 三千円 箱

S口絵写真／宵春期／思ひ草／西片町の家／思ひ川／富士見高原／  
秋の心／うつりかはり／あとがき(水上勉)

\*普及版昭和四十七年十一月二十日発行

宇野浩二全集第九卷

昭和四十四年六月二十五日発行 中央公論社 A5判 布装 四七

八頁 三千円 箱

S口絵写真／自分一人／想思草／大阪人間／寂しがり屋／友垣／自  
分勝手屋／人間同志／戯曲(暁の歌)／童話(搖籃の唄の思ひ出／  
海の夢山の夢／向ふの山／龍介の天上／春の日の光／暗れ渡る元日  
／曙の下の神様／アイヌ爺さんの話／福の神の正体／胡桃とチュリッ  
プ／熊虎合戦／王様と嘆き／蚊とんぼ物語／黒と白の戦／人にすぐ  
れた芸／雪だるま／春を告げる鳥／石の渡し／暑中休暇の日記／曲  
馬団と少年／王様と靴直し／二人の按摩／ピッチョラ／勝つ話と負  
ける話／話を買ふ話)／あとがき(水上勉)

\*普及版昭和四十七年十二月二十日発行

宇野浩二全集第十卷

昭和四十三年十月二十五日発行 中央公論社 A5判 布装 五一

一頁 三千円 箱

S口絵写真／葛西善蔵論／近松秋江論／嘉村磯多／石井柏亭／鍋井  
克之／長塚節／岩野泡鳴／一途の道／文芸三昧／森鷗外私観／改作  
問題／ゴオゴリ／自然主義の道／島崎藤村／哀傷と孤独の文学／愛  
読する人間／川崎長太郎／芥川龍之介賞選評／あとがき(山本健吉)

\*普及版昭和四十八年一月二十日発行

宇野浩二全集第十一卷

昭和四十四年三月二十五日発行 中央公論社 A5判 布装 四七

五頁 三千円 箱

S口絵写真／芥川龍之介／忘れ得ぬ一つの話／里見淳／斎藤茂吉の  
面目／文芸よもやま談義(加能作次郎の一生／葛西善蔵の一生／牧  
野信一の一生)／あとがき(山本健吉)

\*普及版昭和四十八年二月二十日発行

宇野浩二全集第十二卷

昭和四十四年八月二十日発行 中央公論社 A5判 布装 五〇三

頁 三千円 箱

S口絵写真／震災文章／蒲団の中／質屋の小僧／質屋の主人／思出  
話／遠方の思出／三田派の人々／二つの会／大阪／晩秋三日／文学  
の三十年／御前文学談／世にも不思議な物語／当て事と禪／忘れ難

き新中国／晩秋の九州／年譜（波川駿）／主要著作年表／主要著書  
目録／あとがき（波川駿）

\*普及版昭和四十八年三月二十日発行

## 六、文学全集叢書類

佐藤春夫・宇野浩二篇〈現代長篇小説全集20〉

昭和四年十月一日発行 新潮社 四六判 クロス装 八一七頁 非  
売品 挿絵・田中良

§出世五人男（影を失った男（序話）／緑の首都／大名長屋／浮世  
学校／続浮世学校）／「大名長屋」続篇／「浮世学校」後篇／出世／  
「出世」後篇）四頁（八頁）

近松秋江・宇野浩二篇〈明治大正文学全集42〉

昭和四年十月二十五日発行 春陽堂 四六判 布（背紙）装 六五  
四頁 非売品 装幀・恩地孝四郎 編輯校訂・岡康雄・清水義政・  
泉斜汀

§筆者筆蹟／高天ヶ原／蔵の中／子を貸し屋／心づくし／山恋ひ  
（前篇）／山恋ひ（後篇）／千萬老人／宇野篇解説（著者）／著者  
近形（巻頭）

広津和郎・葛西善蔵・宇野浩二集〈現代日本文学全集48〉

昭和四年十一月十日発行 改造社 菊判 クロス装 五〇三頁 一  
円 装幀・杉浦非水

§巻頭写真（照影）／序詞（筆蹟）／苦の世界（前編）／苦の世界  
（後編）／高天ヶ原／軍港行進曲／続軍港行進曲／年譜

現代隨筆全集3

昭和十年七月二十日発行 金星堂 四六判 布装 五〇五頁 二円  
§小説を作る家―一名、牧野信一之事／信濃の国の顔／文筆労働／  
今は昔の話／深田久彌と彼の山山―深田久彌の「わが山山」の紹介  
文―／椎の木の家―花袋なき花袋の書斎訪問記―（二頁）（三頁）

宇野浩二篇〈現代長篇小説全集7〉

昭和十二年十二月二十三日発行 三笠書房 四六判 四〇二頁 一  
円五十銭

§恋愛合戦／跋

日本小説代表作全集1〈昭和十三年・前半期〉

昭和十三年十月三十一日発行 小山書店 四六判 厚紙装 五七七  
頁 二円

§序（編纂者）／器用貧乏（二〇頁―三七頁）

日本小説代表作全集3〈昭和十四年・前半期〉

昭和十四年十一月十五日発行 小山書店 四六判 厚紙装 五一六  
頁 二円



§ 木から金へ(六〇～六頁) / 昭和十四年度上半期主要雑誌掲載小説  
目録 / 後記 / 本全集の意義に就て (編輯者)

日本小説代表作全集 8 (昭和十六年・後半期)

昭和十七年八月二十五日発行 小山書店 四六判 厚紙装 四四四  
頁 二四五十銭

§ 身の秋(三九〇～三九二頁) / 昭和十六年度下半期主要雑誌掲載小説目  
録 / 編輯の言葉 (編輯者)

日本小説代表作全集 14

昭和二十二年九月十日発行 小山書店 B6判 紙装 三六八頁  
百二十円

§ 浮沈(三〇〇～三〇六頁) / 昭和二十一年度前半期主要雑誌掲載小説目録  
/ 編輯者のことば

現代日本文学選集 7

昭和二十五年三月三十一日発行 細川書店 四六判変型 厚紙装  
三三三頁 三百五十円

§ 作者のことば / 略歴 / 口絵写真 / 枯木のある風景

広津和郎・葛西善蔵・宇野浩二集 (現代日本小説大系 33)

昭和二十五年七月十日発行 河出書房 B6判 厚紙装 四四〇頁  
百八十円 (地方定価・百九十円)

§ 宇野浩二集 (苦の世界 / 如露 / 子を貸し屋) / 解説 (片岡良一)

広津和郎・室生犀星・宇野浩二・豊島与志雄集 (現代日本小説大系 47)

昭和二十七年二月十五日発行 河出書房 B6判 厚紙装 三〇二  
頁 二百三十円 (地方定価・二百四十円) 紙カバー オビ

§ 宇野浩二集 (枯木のある風景 / 子の来歴 / 一週間 / 夢の通ひ路)  
/ 解説 (中島健蔵)

文芸三昧・愛と死と (現代日本随筆選 6) ☆

昭和二十八年十二月一日発行 筑摩書房 B6判 二五〇頁 二百  
二十円

\* 広津和郎との合集

宇野浩二集 (現代文豪名作全集)

昭和二十九年一月三十一日発行 河出書房 B6判 クロス装 四  
四二頁 二百八十円 (地方定価・二百九十円) オビ

§ 蔵の中 / 長い恋仲 / あの頃の事 / 八木弥次郎の死 / 空しい空 (あ  
るひは春色梅之段) / 夢見る部屋 / 山恋ひ (前編) / 山恋ひ (後編)  
/ 千万老人 / 如露 / 軍港行進曲 / 日曜日 (あるひは小説の鬼) / 枯  
木のある風景 / 終の栖 / 夢の通ひ路 / 楽世家等 / うつりかはり / 年  
譜 / 解説 (臼井吉見)

広津和郎・宇野浩二集 (昭和文学全集 48)

昭和二十九年十一月十五日発行 角川書店 A5判 クロス装 四  
〇〇頁 二百八十円 (地方定価・二百九十円) 箱 オビ

§ 巻頭写真／宇野浩二集（筆蹟／枯木のある風景／子の来歴／一週間／終の栖／器用貧乏／思ひ草／改作問題／随筆（椽様の大阪芸人／隣人江口渙に就いて／葛西善蔵／ゴオリ以前）／解説（田宮虎彦）／年譜

広津和郎・宇野浩二集（現代日本文学全集32）

昭和三十年十二月五日発行 筑摩書房 A5判 クロス装 四三八

頁 三百五十頁 装幀・恩地孝四郎 箱

§ 口絵写真／宇野浩二集（蔵の中／子を貸し屋／枯木のある風景／

枯野の夢／子の来歴／夢の通ひ路／器用貧乏／うつりかはり）／宇

野浩一（山本健吉）／解説（平野謙）／年譜

菊池寛・宇野浩二集（少年少女のための現代日本文学全集14）

昭和三十年十二月二十四日発行 東西文明社 A5判 厚紙（背ク

ロス）装 二五三頁 二百五十頁 装幀・青山龍水 カット・山本

耀也 紙カバー

§ 宇野浩二集（心の古里／北斎のだるま／少年時代／富士見高原／

母と貯金箱／熊と虎／尊徳と凶作／祖母の父／閑人閑話／大地震の

時／はげしい空襲／疎開さきの家／むこうの山／王様の嘆き／解説

（十返強）

大正名作集Ⅱ（日本文学全集24）

昭和三十一年一月二十日発行 河出書房 A5判 布装 三八二頁

三百四十頁 装幀・原弘

§ 蔵の中／年譜／解説（山本健吉）

国民の言葉（現代日本文学全集18）

昭和三十三年二月十五日発行 角川書店 A5判 クロス装 四〇

七頁 三百二十頁

§ 国民の言葉（弐〇〇頁）／名著解題近代日本思想史（瀬沼茂樹）

／後記（亀井勝一郎）

現代紀行文学全集1（北日本篇）

昭和三十三年七月十五日発行 修道社 B6判 布装 四三五頁

四百八十頁 地図監修・石田龍次郎 地名校閲・岡田喜秋

§ 北海道遊記（三〇〇頁）／発表誌一覧

現代紀行文学全集7（山岳篇下）

昭和三十三年八月二十日発行 修道社 B6判 布装 四二九頁

四百八十頁 写真・浅野孝一・多川精一・中沢義直・浅石靖・三木

慶介・馬場勝喜・三浦敬三・山北哲雄・船越好文・白井徳蔵・月原

俊二・橋本三八 地図監修・石田竜二郎 地名校閲・岡田喜秋 見

返地形模型・西村健二

§ 半世紀前の登山話―主として大峰登山の話―（語九〇〇頁）／発

表誌一覧

現代紀行文学全集4（西日本篇）

昭和三十四年四月十日発行 修道社 B 6判 布装 四四三頁 四  
百八十円 地図監修・石田龍次郎 地名校閲・岡田喜秋

§木のない都―昔のままの姿―(四九〇―五〇頁) / 発表誌一覽

現代紀行文学全集11〈中国編II〉

昭和三十五年二月二十五日発行 修道社 A 5判 布装 三四〇頁

五百五十円 口絵写真・中島健蔵・亀田東伍・北川桃雄・草野心

平・火野葦平・吉田穂高 敦煌文物研究所 亜細亜通信 E・P

§口絵写真／忘れ難き新中国―新中国見聞記―(三三〇―三四頁) / 出

典一覽／地図

現代紀行文学全集5〈南日本篇〉

昭和三十五年三月三十一日発行 修道社 B 6判 布装 四六四頁

四百八十円 地図監修・石田龍次郎 地名校閲・岡田喜秋

§今昔の長崎(三九〇―三九七頁) / 発表誌一覽

宇野浩二集〈現代知性全集38〉

昭和三十五年六月十五日発行 日本書房 B 6判 布装 二九四頁

二百五十円(地方定価・二百六十円) 紙カバー オビ

§口絵写真／序／I(自然主義の道)／二、自然主義の前派／三、島

崎藤村／三、田山花袋／四、国木田独步／五、岩野泡鳴／六、正宗

白鳥／七、青山青果／八、徳田秋声) / 文芸放談(一、荷風の戦後

の作品)／二、荷風の隨筆と詩)／三、荷風と白鳥) / 一、荷風の「罹

災自録」／2、白鳥の「戦災者の悲しみ」／四、鷗外と茂吉) / 一、

短篇「半日」／2、歌集「白桃」) / 歌人の散文(一、正岡子規

／二、長塚節)／三、伊藤左千夫／四、斎藤茂吉)／五、島木赤彦) / 六、

中村憲吉)／七、古泉千樫)／八、土屋文明)／九、与謝野鉄幹)／十、与

謝野晶子)／十一、北原白秋)／十二、若山牧水)／十三、石川啄木) /

改作問題) / II(哀傷と孤独の文学) / 里見弴) / 武者小路実篤) / 愛読

する人間) / III(文楽の世界) / 見世物時代) / 御前文学談) / 親の子を

思ふ) / IV(北海道遊記) / 晩秋の九州) / 忘れ難き新中国) / 年譜)

広津和郎・宇野浩二集(日本現代文学全集58)

昭和三十九年四月十九日発行 講談社 A 5判 クロス装 四四六

頁 六百元 箱

§宇野浩二集(巻頭写真) / 筆蹟) / 蔵の中) / 苦の世界前篇) / 後篇) / 子

を貸し屋) / 枯木のある風景) / 子の来歴) / うつりかはり) / 近松秋江論

／芥川龍之介) / 追悼) / 宇野浩二年譜(浜川駱) / 宇野浩二参考

文献(浜川駱)

里見弴・宇野浩二集(日本文学全集21)

昭和三十九年七月二十日発行 新潮社 B 6判変型 五一八頁 二

百六十円

§蔵の中) / 枯木のある風景) / 終の栖) / 思ひ川) / 注解(吉田精二) /

年譜(浜川駱) / 解説(河盛好蔵)

宇野浩二・葛西善蔵・牧野信一集〈現代文学大系29〉

昭和四十二年七月十日発行 筑摩書房 四六判 クロス装

§思ひ川／子を貸し屋／枯野の夢／子の来歴／夢の通ひ路／年譜

(渋川驍)／人と文学(臼井吉見)

宇野浩二・久保田万太郎〈現代日本文学館22〉

昭和四十四年三月一日発行 文芸春秋 B6判 布装 四六二頁

四百八十頁 装幀・杉山寧 挿画・鍋井克之「思い川」 内山雨海

「未枯」「春泥」「うしろかけ」

§宇野浩二伝(水上勉)／思い川―あるいは夢みるような恋―／蔵

の中／枯木のある風景／子の来歴／解説(水上勉)／注解(吉田精

一)／年譜(吉田精一)

広津和郎・宇野浩二・葛西善蔵集〈日本近代文学大系40〉

昭和四十五年七月十日発行 角川書店 A5判 クロス装 五四二

頁 千三百円 装幀・原弘 箱

§口絵写真／凡例／宇野浩二集解説(渋川驍)／宇野浩二集注釈

(勝山功)／蔵の中／苦の世界／補注／参考文献(勝山功)／年譜

(勝山功)

宇野浩二・広津和郎集〈現代日本文学大系46〉

昭和四十六年九月十五日発行 筑摩書房 A5判 クロス装 四八

三頁

§巻頭写真／筆蹟／蔵の中／長い恋仲／夢見る部屋／子を貸し屋／

千万老人／如露／軍港行進曲／子の来歴／夢の通ひ路／うつりかは

り／若き日の宇野浩二(江口渙)／宇野浩二の世界(伊藤整)／宇

野浩二年譜(渋川驍)／著作目録(渋川驍)

宇野浩二〈日本文学全集30〉

昭和四十八年六月八日発行 集英社 B6判 クロス装 四五一頁

二百九十頁 装幀・後藤市三 挿絵・関野準一郎

§口絵写真／筆蹟／思い川／屋根裏の法学士／蔵の中／一と踊／子

を貸し屋／千万老人／軍港行進曲／統軍港行進曲／枯木のある風景

／器用貧乏／注解(小田切進)／作家と作品―宇野浩二(渋川驍)

／年譜(小田切進)

部落問題文芸作品選集39

昭和五十二年三月二十日発行 世界文庫 B6判 布装 二四九頁

箱

§屋根裏の恋人／因縁事

現代日本のユーモア文学4 吉行淳之介・丸谷才一・開高健編

昭和五十五年十二月三十日発行 立風書房 B6判 紙装 二五〇

頁 千円 装幀・山藤章二 カバー構成・池上幸男 紙カバー オ

ビ

§川崎長太郎(三四三三頁)

長野県文学全集3 (大正編Ⅱ)

昭和六十三年七月十五日発行 郷土出版社 B6判 布袋 四八四頁 三千円 校訂・新海郎男・征矢野宏・柳裕・高田彰・中村みどり

§ 口絵写真／山恋ひ(前篇)／解説(宮脇昌三) 第三卷／略年表／第三卷の底本について

昭和文学全集3

昭和六十四年一月一日発行 小学館 A5判 布袋 一〇八一頁 四千円 装幀・菊地信義

§ 口絵写真／枯木のある風景／枯野の夢／子の来歴／器用貧乏／思い出すまゝに(十二章～十五章)／宇野浩一・人と作品(野山嘉正)／宇野浩二年譜(渡川鏡)

長野県文学全集7 (昭和戦後編Ⅰ)

平成元年十一月十八日発行 郷土出版社 B6判 布袋 四二〇頁 三千円

§ 口絵写真／山都松本／解説(平野勝重)／第七卷の底本について 都市の周縁(モダン都市文学Ⅲ) 川本三郎編

平成二年三月八日発行 平凡社 A5判 厚紙装

§ 鯛焼屋騒動(二六八～三六頁)

七、広津和郎名儼記

モオパッサン評伝(泰西文豪評伝叢書2)

大正八年二月十五日発行 春陽堂 菊半裁判 紙(背布)装 六十五銭

§ モオパッサン評伝(彼の家系と其近親者／少年時代―エトゥルタアの日―／神学校時代(詩作第一期)／中学校時代(詩作第二期)―詩人ブイエエの事―／普仏戦争／巴里の生活(舟遊びと詩作)／フロオベエルの指導―トゥルゲニエフその他の交友の事―／仕事の準備／詩人としての彼／小説の處女作―メダンの夜がたり―／劇作家としての彼／創作時代／富と著名／芸術慾と生活慾／ノルマンディの別荘―旅―／世間嫌ひ―ゴンクウルとの関係―／文学に対する態度／彼の病気の始め／眼疾と病的趣味／作品に現はれたる病状／狂気／臨終まで／葬式―ゾラの追悼文―)／ギイ・ド・モオパッサンの追想―彼の従業フランソワの日記抄―(奉公の始め／エトゥルタア行き／第一流の漕者／「ベラミイ」の出来た秋／「サラナムボオ」／彼の天文学／独逸に対して／「ホルラ」作者は狂気か／「ピエエルとジャン」の成立／芸術家の心―フロオベエルの思ひ出―／巴里の春の日／ポアシイにて／フランソアとフロオベエル／苦參の

樹／フランソアとゾラ／旅より家へ／テエヌの「橄欖畑」評／令弟

\*昭和四十七年二月発行版あり。

エルエの追想／優しきG博士／医師の診察／旅立／医師ダラムベ  
エル／「フェエカンの僧」／幻覚、身体の衰弱／暮の日記／悲しき

正月／最後の食卓／深夜の出来事／看病の夜の思ひ出／独逸に対す  
る敵愾心／肉屋の涙／ブランシユ博士の病院へ／ブランシユ博士の  
絶望／夏より秋へ／春の追憶

マノン・レススコオへエルテル叢書191

大正八年七月二十日発行 新潮社 菊半裁判 クロス装 二〇九頁

六十五銭 紙カバー

§序／マノン・レススコオ（一〜十三）

## 八、復刻本

蔵の中〈名著復刻全集近代文学館〉

昭和四十四年四月発行 日本近代文学館

帰れる子〈復刻「赤い鳥の本7」〉

昭和四十四年七月発行 ほるぶ出版

\*昭和五十一年三月発行版あり。

赤い部屋〈名著復刻日本児童文学館〉

昭和四十六年一月発行 ほるぶ出版